

独立行政法人 国際協力機構
中国国際センター（JICA 中国）
平成20年度 活動レポート



JICA 中国活動レポート

目次

はじめに	1
第1部 各事業の活動報告	
1. 研修員受入事業.....	2
2. 青年研修事業.....	4
3. 海外ボランティア事業.....	6
4. 草の根技術協力事業.....	8
5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業.....	10
6. 大学との連携協力.....	14
第2部 実績・参考資料	
1. 平成20年度事業実績.....	15
2. 参考資料.....	51

はじめに

この冊子は、独立行政法人 国際協力機構 中国国際センター（JICA 中国）の平成20年度の事業概要をまとめたものです。

JICA 中国は、中国地方の自治体、大学、民間企業等、様々な団体からのご支援ご協力を得、地域・各団体のノウハウを活かして開発途上国の人材を育てる研修コースを中国 5 県で実施しています。平成20年度は、アジアやアフリカなど様々な国から、227名の行政官や技術者等が、これらの研修コースに参加しました。彼らは、将来、自国の発展に寄与することが期待されています。

開発途上国の住民と一体となって協力活動を展開する海外ボランティア事業については、昨年度 1 年間で中国地方から129名の方々が派遣され、市民のみなさまの国際協力にける意気込みを感じました。

JICA 中国は、また、地域の NGO や自治体等との連携事業も積極的に進め、草の根技術協力事業を通じて、これらの団体の協力事業をサポートしています。平成20年度は、9 団体が、アジア、アフリカ、大洋州、中米で、JICA との協力のもと、団体それぞれの強みを活かした技術協力を実施し、開発途上の地域や国々の発展への貢献をめざしています。

中国 5 県の市民を対象とした支援活動も、JICA 中国の大切な事業です。開発途上国の実情を知り、国際協力の必要性を理解していただくため、JICA ボランティア経験者や職員などを講師として小学校、中学校や市民のみなさまのもとに派遣する国際協力出前講座は、昨年度 1 年間で201件実施し、17,249名にのぼる市民の方々のご参加をいただきました。また、60名の研修員が7校の学校現場で1,188名の生徒さんと交流を深めました。

他にも、中国 5 県の教師の方々やマスコミ関係者を開発途上国に派遣し、その現状を子どもたちや市民の方々に、授業や新聞等を通じてお伝えいただく事業にも力を入れています。

昨年10月 1 日に、JICA は、これまで実施してきた技術協力事業に加え、無償資金協力事業の一部と円借款事業の実施を担う援助機関に生まれ変わりました。「すべての人々が恩恵を受ける、ダイナミックな開発」を目指すことが新生 JICA のビジョンです。JICA 中国は、これからも、中国地方のみなさまと力を合わせて、このビジョンの実現に向け努力する所存です。これまで以上に地域のみなさまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

平成21年10月

独立行政法人 国際協力機構

中国国際センター

所長 齋藤直樹

第1部 各事業の活動報告

1. 研修員受入事業

JICA 中国は、開発途上国のそれぞれの専門分野で実務に携わっている技術者、研究者、行政官などを受け入れて、研修の機会を提供しています。

平成20年度は、教育分野の研修を中心に、地域産業の振興、環境管理、水産業の各種分野において研修を実施しました。これらの研修は、教育分野の研修において広島大学、広島県立教育センターなどと連携して実施するなど、地域のリソースと最大限連携を図った上で実施しています。

JICA 中国では、今後とも、地域のリソースを活かし、かつ途上国の問題解決に繋がる研修コースの実施を継続すると共に新たな開拓を行っていく所存です。



平成20年10月に開催された西条・酒まつりで子供たちとゲームに興じる JICA 研修員

4月

平成19年度「地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成」コース継続実施

10月

南アフリカ共和国「理数科教員養成者研修」コース開始
研修員、東広島市の「酒まつり」に参加

5月

「廃棄物管理総合技術」、「ガスタービン・蒸気タービン（石炭）火力発電」コース開始

11月

アフリカ地域（仏語圏）「INSET 運営管理」、中南米地域「中小企業振興政策」、イラク「配電網改善」コース開始

6月

南東欧「地域産業振興政策」コース開始

12月

7月

中東地域「上水道維持管理」、「乾燥地水資源の開発と環境評価」コース開始

1月

「食品加工・保全技術」、アフリカ地域「中小零細企業支援機関育成」、サブサハラ・アフリカ地域「平和構築としてのガバナンス能力強化」、イラク「火力発電」コース開始

8月

「中等科学教育実技」、「持続可能な地域観光振興」、「養殖魚の健康と安全管理」コース開始

2月

アジア地域「ノンフォーマル教育拡充」コース開始

9月

中南米地域「生活排水処理」、南西アジア地域「公害防止行政」、「ナイル川流域農業開発・環境保全支援」、カンボジア「地方行政」コース開始

3月

アフリカ地域「初中等教育の質的改善」、「地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成」コース開始

地域別研修 「アフリカ地域（仏語圏）現職教員研修運営管理」 コース

JICA 中国では、アフリカ地域（仏語圏）の教育行政官を対象にした現職教員研修運営管理コースを平成20年度から実施しております。今回は、ベナン、ブルキナファソ、マダガスカル、ニジェール、セネガルから現職教員研修の立案や運営管理に携わる計13名が来日しました。

これらの国の多くでは、現地への日本人専門家の派遣等を通じ、理数科分野における現職教員研修の強化を目指した技術協力プロジェクトを実施しています。この研修コースは、これら現地での技術協力プロジェクトと連携し、実施することで、アフリカ地域における理数科分野の教員研修の定着を目指しています。

来日した研修員は、平成20年11月4日から12月12日まで、広島県立教育センター、広島県教育委員会、広島県内の学校などへの訪問や講義を通じ、自国の現職教員研修の現状と課題を整理し、有効な改善計画を策定・遂行するための方策について学びました。

その他、コースの始まりに広島大学大場淳准教授、広島大学レヴィ・アルヴァレス・クロード教授をアドバイザーとしてワークショップを行い、それぞれの国の教員研修が取り巻く問題、課題及びその解決策について活発に議論をしました。

- ・「現職教員研修が必ずしも制度化されておらず、研修実施費用が予算化されていない」
- ・「研修への参加意欲が低い教員をどのように研修に巻き込めばよいのか」など

また、ひろしま型カリキュラム*を推進している広島市では、研究開発校として指定されている広島市立長東西小学校における公開研究会に参加し、より良い授業の実施のために、日頃からどのように教員同士が研究しているのか、それを学校全体として、あるいは教育委員会がどのように支援しているのか、という具体的な事例も見学しました。

以上を通じて、研修員は、法律で定められた行政主導の段階別研修、行政と学校現場が協力し合いながら実施する教育委員会主導の研究会、学校現場や教員が自主的に実施する校内研修や教科研究会など多様な研修機会の計画、実施、評価・モニタリングを目の当たりにし、感銘を受けると共に、帰国後は日本で見聞きした経験やノウハウを是非自国に伝えていきたいとの意見が多く出されました。

JICA 中国では、本研修コース以外にも、英語圏アフリカ地域の国々（ケニア、マラウイ等）を集めた研修コースも実施しており、広島県や広島市における教育分野での経験やノウハウを広く各国の課題解決の方策として、発信していきたいと思っております。

*ひろしま型カリキュラム： 「小学校と中学校の連携・接続の改善」、「言語・数理運用科の創設」、「小学校5・6年生に英語科の創設」を3つの柱とし、学習指導計画の作成及び研究開発校等での実践研究並びに教員研修などを行っている。広島市独自の教育課程として平成22年度（2010年度）から全市立小学校、中学校へ導入することにしており、平成19年度より研究開発校等を指定して実践研究を進めている。（広島市教育委員会ホームページより抜粋）



広島市立長東西小学校にて



広島県立教育センターにおいて
実験を体験する研修員

2. 青年研修事業

青年研修とは、開発途上国の若者を日本に招き、将来の国づくりを担う人材を育てる事業です。開発途上国の若者は18日間日本に滞在し、各専門分野の知識・技術を向上させる研修を受けます。また、本研修は、日本各地の市民や地方自治体が、地域の特色を活かして国際協力に参加する機会ともなっており、開発途上国の若者が帰国した後も、日本の関係者や市民との協力関係が続いたり、日本の関係者が途上国を訪問するなど、草の根レベルの国際協力にもつながる事業です。



「フィリピン・情報通信技術」(10月)
 地元の市民と交流するフィリピンの青年たち

4月



「中華人民共和国・環境行政」(10月)
 廃プラスチック再資源化について施設
 見学をする中国の青年たち

5月

10月

「フィリピン・情報通信技術」
 受入団体：島根県地域国際協力連合会

「中華人民共和国・環境行政」
 受入団体：宇部環境国際協力協会

11月

「アフリカ(英語圏)・情報通信技術」
 受入団体：世界青年徳山友の会

「タイ・ボランティア活動」
 受入団体：とっとり青友会

6月



「アフリカ(英語圏)・情報通信技術」
 (11月)徳山工業高等専門学校で実習
 を体験するアフリカの青年たち

7月

12月

「ベトナム・就労支援/職業訓練」
 受入団体：津山と世界を結ぶ会

1月



「ベトナム・就労支援/職業訓練」(12月)
 専門学校を見学するベトナムの青年たち

8月




「タイ・ボランティア活動」(11月)
 地域のボランティアグループと意見交
 換するタイの青年たち

9月


2月

3月



アフリカをより近くに感じたい

津山と世界を結ぶ会 代表 神田 進



1. 津山と世界を結ぶ会の活動

「津山と世界を結ぶ会」は、JICA が実施する「青年招へい事業」（現在は「青年研修事業」）の地方別プログラムを、岡山県津山市内外で実施するために作られた実行委員会です。構成団体は、「津山市」、「青年海外協力隊岡山県 OV 会」及び「特定非営利活動法人津山国際交流の会」の3団体です。

「津山と世界を結ぶ会」は、これまで中国、ブルネイ、マレーシア、アフリカ（フランス語圏及び英語圏）、ベトナムの国々の青年たちを、JICA 中国の青年招へいプログラムとして16回、受け入れてきました。中でもアフリカ（フランス語圏）からの受入は9回にも及びます。当初、アフリカ青年（フランス語圏）の受け入れができるかどうか、大変不安でしたが、多くのボランティアの方々と関係機関に支えられて、実施することができました。

特に、ホームステイを受け入れてくださった多くのホストファミリーの方々には心から感謝しています。これまで津山市内外でホストファミリーを引き受けてくださったご家庭は170余りです。中には、有難い事に、1990年からこれまで18年間に亘り、ホストファミリーを引き受けてくださっているご家庭もあります。

2004年10月、「津山と世界を結ぶ会」は、アフリカ青年を積極的に受け入れたことから、JICA 理事長表彰の団体の部を受賞しました。JICA 理事長表彰とは、JICA が実施する国際協力事業に貢献し、特に功績があったと認められる個人又は団体に贈られるものです。

2. アフリカ開発会議等に思う

昨年の5月に横浜で開催された TICAD IV（第4回アフリカ開発会議）に合わせて、アフリカ諸国を代表して多くの方々が来日しました。私は、アフリカ諸国の人たちがテレビに映るのを、懐かしさを感じながら見ていました。今後ますますアフリカ諸国と経済、政治、文化の交流や協力を行い、アフリカを近くに感じられるようになっていきたいものです。

アフリカ青年（フランス語圏）を受け入れた当時、私も、コートジボワール、ジブチ、中央アフリカ、ブルキナファソ、モロッコなどの国々の青年をホストファミリーとして迎えました。そのとき、コートジボワールの青年から、「私の国は、アフリカにある小さな国で、共通言語はフランス語。しかし、山を越えれば言葉や習慣、民族までも全く違う、そういう地域が国内にいくつもある。そんな国の国民としての共通意識を持つことは難しい」と言われたことを思い出します。また、「日本は高い塀も警備員もない、道と家だけですぐに家に入れます。安全ですか？不思議だなあ」と、ジブチの青年から言われたこともありました。

昨年7月に開催された北海道洞爺湖サミットでも「アフリカの開発」が主要議題の一つでした。アフリカには砂漠もあれば熱帯雨林もあります。地域や国によって文化、歴史、実情など様々に違います。アフリカ諸国の文化や歴史、市民生活にも視線をおいたアフリカ支援の検討が、今後もなされることを期待しています。

3. 「特定非営利活動法人 津山国際交流の会」

「津山と世界を結ぶ会」の実践母体は、「特定非営利活動法人津山国際交流の会」です。

「特定非営利活動法人津山国際交流の会」は、主に県民の国際化推進事業として、国際理解教育及び在住外国人（特に留学生）への支援並びにインドシナ半島山岳民族への支援活動を行っています。会員は60数名、実行委員は10名です。1990年に、JICA 青年招へい事業の受入を開始し、「津山と世界を結ぶ会」が発足しました。

「特定非営利活動法人津山国際交流の会」の会員には JICA 青年海外協力隊経験者がいます。アフリカへ青年海外協力隊として派遣された者たちが帰国し、そのバイタリティが「津山と世界を結ぶ会」の行動力にもなっています。

今後も JICA 青年研修事業を積極的に受け入れていきたいと考えています。

3. 海外ボランティア事業

JICA 中国では、開発途上国の住民と一体となって行う協力活動を志望する個人を募集し、海外に派遣しています。海外ボランティアは大きく分けて、青年（20～39歳）を対象とした青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアと、シニア（40～69歳）を対象としたシニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティアがあります。中でも、青年海外協力隊事業は、1965年の事業開始より40年以上継続して取り組んでいます。JICA 中国は、毎年春と秋の2回の募集期に合わせて実施される一般募集説明会の他、帰国隊員の報告会、大学や各種セミナー・イベント等でのボランティア事業の紹介など、ボランティア事業の理解促進のための様々な活動を行っています。



「青年海外協力隊帰国報告会（鳥取）」（2月）
地元の人々で賑わう食文化サロン

4月	4/8～5/23 平成20年度春募集、一般募集説明会実施（12都市、23回） 4/23 山口大学特別説明会 5/14 島根大学特別説明会	10月	10/1～11/10 平成20年度秋募集、一般募集説明会実施（12都市、23回） 10/19 倉敷国際ふれあい広場ブース出展（岡山県OV会） 10/26 ペあせろべ出展（広島県OB会）
5月	6/3 岡山県知事帰国隊員表敬 6/7 岡山外語学院特別説明会 6/16～20 平成20年度1次隊出発前表敬 6/17 鳥取県知事帰国隊員表敬	11月	11/1 帰国報告会（山口県OB会） 11/16 国際交流・協力の日ブース出展、帰国報告会（広島県OB会） 11/29～30 アフリカンフェスタ in やまぐち（山口県OB会）
6月	【特別説明会】 7/3 広島県立農業技術大学校特別説明会 7/8 美作大学特別説明会 7/28 広島国際学院大学自動車短期学部特別説明会	12月	12/7 青年海外協力隊帰国報告会（浜田市） 12/15～19 平成20年度3次隊出発前表敬
7月	8/9 教育セミナー中国2008 in 安芸高田 ブース出展 8/23 地球のステージ島根公演（島根県OB会） 8/25 広島県現職参加教員帰国報告会 8/30 鳥取県国際理解教育研修会	1月	1/30 山口大学特別説明会 1/31 岡山県ボランティア家族連絡会、帰国報告セミナー（岡山県OV会） 1/31 教育セミナー中国2008 in 三原 ブース出展
8月	9/13 青年海外協力隊帰国報告会（松江市） 9/16～19 平成20年度2次隊出発前表敬	2月	2/7 鳥取県ボランティア家族連絡会、帰国報告会（鳥取県OV会） 2/22 広島県ボランティア家族連絡会
9月		3月	3/16～19 平成20年度4次隊出発前表敬 3/20 山口県ボランティア家族連絡会 3/29～31 広島市紙屋町シャレオ特別募集イベント

世界で活躍したボランティアからの メッセージです！



笹井 英浩

派遣国：パプアニューギニア
派遣期間：平成18年6月～平成20年6月
職種：理数科教師
出身：岡山県

「いままで理科実験を見たことがない子供たちに、理科実験を見せたい！！」という想い、それが青年海外協力隊に参加するきっかけでした。協力隊は派遣されれば後は自分次第。すべては自分の責任です。想像していた以上に何も無い環境、日本ではあたりまえだったことがあたりまえじゃない状況に、始めは戸惑い悩んだりもしました。同僚と考えの違いからぶつかることもありましたが、そのなかで、話し合っ理解しあったり、考えを共有していくことの大切さに、改めて気付かされました。あたりまえのことだけど、育ってきた環境が違えば、考え方や感じ方は違うんです。たとえ理解はできなくても、認識し把握することはできるはず。計画を現地の人と一緒に、修正・変更を繰り返しながら進めていくことはとても大変だったけど、最終的に理科実験書が完成したときはとてもうれしく、この実験書と経験は自分自身の大きな財産になりました。パプアニューギニアの小学校で理科実験が取り入れられるきっかけになっていけばいいな、と思います。

そして、日本人がいない環境で2年間頑張ることができたのは、パプアニューギニアの人々のおかげです。人と人との心の距離がとても近いんです。こっちから言わなくても気づいてくれて、声をかけてきてくれる人々。

道を歩いているとすべての人が声をかけてきてくれます。「おはよー、元気か？どこに行くんだ？」って。みんなが「仲間」「困ってそうだから助ける」があたりまえ。そんな人と人との大切なつながりを、パプアニューギニアの人々に教えられました。伝えたこと以上に、多くのものを教えられた2年間だったと思います。

学校やテレビが教えてくれない世界。自分自身で切り開いていけないといけない環境。つらいこともいっぱいあったけど、自分自身で選んだことに一生懸命になるのはやりがいがあるし、こんなに楽しいことはないんじゃないかと思います。

高村 和美

派遣国：ボリビア
派遣期間：平成18年3月～平成20年3月
職種：保健師
出身：山口県



南アメリカ中央部に位置し、アンデスの山脈から続く渓谷地帯、アマゾン支流域など様々な顔を持つ自然豊かで広大な国ボリビア共和国。そのアマゾン川支流近くに、人口約1000人の小さな町サンイグナシオ・デ・モホスはあります。首都ラパスからセスナに乗り換え約一時間、さらにセスナが停まる少し大きな町からトラックの荷台に乗り換え3時間。途中川を3回渡る、そこが私の任地でした。

私の仕事は、日本の看護の経験をもとに、同僚看護師や医師と、患者や病院のために何ができるかを共に考えること。患者中心に看護を提供することの大切さを伝えます。40度を越える熱帯気候、医療のために注がれる予算の少なさ、健康や予防意識の欠如などが町の人々の健康を蝕みます。日本では助かる小さな命が失われていくその度に、自分の無力さを痛感する日々が続きました。

「予防を重点に活動すること・・・」同僚と決めた活動内容は、小中学校での手洗い講座や健康診断、妊婦さんに健診の必要性を伝えることなど、盛り沢山。考え方や習慣の違い、言葉の壁のためになかなか活動が進まない日々も経験しました。全てが楽しいことばかりではありません。それでもある日、「かずみが言っているから」と重い腰を上げてくれた日には、ここに来たことの意味を感じることが出来ました。

現地の皆に教えられたことも沢山あります。家族を、友達を大切にその心は、お互いを思いやることの必要性を伝えていきます。

悩んで迷った行程が今では光り輝いて見えるのは、自分なりではあったけれど、「一生懸命」頑張れたから。そんな一瞬に皆さんも出会ってみませんか。

JICA 中国の HP にも現在活動中のボランティアからの便りをたくさん掲載しています。

こちらをご覧ください <http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/volunteer/taiken/index.html>

4. 草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、国際協力の意思をもっている日本の NGO、大学、地方自治体及び公益法人などの団体からの提案を受け、開発途上国への国際協力活動について、JICA が NGO などの団体との共同事業として実施するものです。協力期間は、3年以内(但し、地域提案型は3年度内)です。団体の規模や種類に応じ、次の3種類の事業形態があります。

草の根協力支援型(支援型)

国内での活動実績はあるものの、開発途上国への支援実績が少ない NGO などの小規模な団体向け。提案を受け、実施するもの。草の根パートナー型(パートナー型)

開発途上国への一定の支援実績を有している NGO などの団体が、これまでの活動を通じて蓄積した経験や技術に基づいて提案を受け、実施するもの。

地域提案型(提案型)

地方自治体からの事業提案により、日本の地域社会が持つノウハウ・経験を活かし、現地での技術指導や開発途上国からの人材の受け入れを通して、途上国の人々や地域の発展に役立つ協力活動の提案を受け、実施するもの。



「ザンビア・カニヤマ及びマケニ地区における結核・エイズ統合支援事業」AMDA 社会開発機構結核治療コーナーで紙芝居を使って保健啓発活動をする結核・エイズ治療サポーター

4月

草の根協力支援型案件随時募集
以下、継続案件の実施契約締結
「カンボジア・小学校体育科指導書作成支援プロジェクト」(パートナー型)
「ホンジュラス・エルパライソ県母子保健向上支援事業」(パートナー型)
「インドネシア・エンレカン県酪農研修センター運営支援プロジェクト」(支援型)

9月

地域提案型募集締切
「パラオ共和国・パラオ共和国での学校検診実施のための技術協力(支援型)継続の実施契約締結

5月

「中華人民共和国・寧夏回族自治区における汚泥総合利用技術の確立」(提案型)継続の実施契約締結
「アルゼンチン・ママ、パパ、家族でできる障害児発達 アルゼンチンに障害児発達指導員を」(支援型)採択内定

10月

草の根パートナー型第1回採択内定案件決定
「カンボジア・カンボジアにおける小学校教員の授業能力の向上」(提案型)新規の実施契約締結
「中華人民共和国・日中療育技術交流事業」(提案型)継続の実施契約締結

6月

草の根パートナー型第1回募集締切
「ザンビア・カニヤマ及びマケニ地区における結核・エイズ統合支援事業」(パートナー型)新規の実施契約締結

11月

草の根パートナー型第2回募集締切
地域提案型採択内定案件決定
「中華人民共和国・安順市における環境保全管理研修」(地域提案型)

7月

「ラオス・ラオス国ルアンナムター県ナムハー地区における農林業による村おこし」(支援型)新規の実施契約締結

12月

1月

草の根パートナー型第2回採択内定案件決定

8月

地域提案型募集開始

2月

3月

「カンボジア・小学校体育科教育振興プロジェクト」(パートナー型)採択内定
「中華人民共和国・江西省高齢者介護教員養成事業」(パートナー型)採択内定

地域提案型

「寧夏回族自治区における汚泥総合利用技術の確立」

島根県環境生活部文化国際課 三島 幸司



寧夏での専門家派遣

島根県と友好県区協定を締結している中国寧夏回族自治区とは、1990年から様々な分野で幅広い交流を重ねてきました。

近年、寧夏回族自治区の経済成長はめざましく、特に区都である銀川市においては、急速な工業化・都市化の進行に伴い、工業廃水や生活排水による河川等の水質悪化が進んでおり、水質浄化を目的とする汚水処理場の建設、整備が進められていますが、汚水処理の過程で発生する汚泥も年々増加しています。現在、汚泥は有効利用されることなく、そのほとんどが周辺の砂漠に廃棄され

ています。このような状態を放置すると、周辺地域での環境汚染の拡大が危惧されることから、現地政府では、汚泥の減容化・無害化・資源化に向けた有効な処理技術を模索中です。島根県では、以前にも研修員を中国から受け入れ、下水処理技術とともに、汚泥処理技術についても研修・指導した実績がある経緯から、現地に適した汚泥処理・利用技術を指導・移転することができるものと考え、平成19年度から草の根技術協力事業として、島根県で採用されている多様な手法による下水道汚泥の減容化・無害化・資源化関連技術の指導・協力に取り組んでいます。

平成20年度までの2年間で、専門家を3回、延べ7名を派遣し、研修員を2回、延べ6名を受け入れています。

寧夏回族自治区としては、下水道汚泥の減容化・無害化が実現されれば、汚泥搬出費用の節減や地下水汚染など二次汚染による環境への悪影響を最小限に抑えるこ

とができます。さらに、汚泥の資源化が実現されれば、廃棄物の有効利用により、循環型社会の建設に大きく寄与できます。具体的には、セメント原料や砂漠緑化のための林地肥培、植栽や農業生産のための有機肥料としての有効利用が期待できます。

島根県としては、草の根技術協力事業を通じて、省エネルギー型・環境適応型の減容化・無害化・資源化技術が寧夏回族自治区で確立できれば、この技術を県内、特に中山間地域における下水道汚泥処理や農業生産などへの応用にも期待できると考えています。

この事業を通じて、それぞれ現地で日々業務運営を実施している技術者が、相互の現状を確認し、技術力の向上を図り、さらには国際理解につながる良い機会となっています。



島根での研修員受入

5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業

もっと、国際協力を身近に感じて欲しい！

開発途上国について知って欲しい！

JICA 中国では、これまでの国際協力活動を通して蓄積してきた開発途上国や国際協力に関する様々な情報や経験を、学校や地域社会に還元しています。海外で活躍した青年海外協力隊員による出前講座や海外研修員の学校訪問など、楽しく参加して、たくさん学べる機会をご用意しています。皆さん、奮ってお申込み・参加ください。



国際協力出前講座（写真を使って海外での活動の様子を話しています）

日程	市民参加協力推進事業	教師海外研修	国際理解教育研修会	研修員の学校訪問	高校生国際協力体験プログラム	国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
4月		募集	募集	4/23 応募締切		
5月		5/7 応募締切 5/24-25 第1次派遣前研修	5/9 第1次研修会 5/24 第1回研修会	5/23 岡山市立石井小学校 5/30 東広島市立高屋東小学校	募集	
6月		6/14-15 第2次派遣前研修				6/12 募集開始
7月	平成20年度市民参加協力推進事業 随時実施	7/26-8/9 海外研修	募集	7/18 神石高原町立豊松中学校 広島市立安西小学校	7/3 応募締切 7/11 決定通知	募集
8月					8/16-18 実施	
9月		9/1 研修報告書提出締切 9/20-9/21 第1次帰国後研修	8/29 第2次締切 9/20 第2回研修会	9/16 岡山市立西大寺中学校	9月中旬 プログラム後のレポート/エッセイコンテストのコピー提出締切	9/10 募集締切
10月				10/10 広島県立広高等学校		
11月			募集			
12月						
1月		12/24 実践報告書提出締切 1/24 第2次帰国後研修	1/9 第3次締切 1/24 第3回研修会	1/23 三原市立幸崎中学校		
2月						
3月						3/8 表彰式 (JICA 中国)

視聴覚資料の貸し出し

JICA 中国施設見学
随時申込受付・実施

国際協力出前講座

詳細は、JICA 中国 HP (<http://www.jica.go.jp/chugoku/>) をご参照ください。

出前講座をきっかけに広がる国際協力
エコキャップ集めによる国際貢献活動
～ 松江市立城北小学校6年生の取り組み～

島根県松江市立城北小学校6年生の生徒たちは、2008年9月25日に実施された JICA 国際協力出前講座（藤原国際協力推進員講師）で、「世界がもし100人の村だったら」のワークショップと教師海外研修でマラウイに行った先生が作成したマラウイ紹介 DVD を見て、世界の現状を学習しました。

そして、この出前講座をきっかけに、自分たちにも出来る国際協力を考え、実行してみました。

その中の活動のひとつが、「エコキャップ集め」です。

生徒たちは学校中に参加者を募り、約2,500個のペットボトルキャップを集めることに成功しました。2,500個のキャップはお金にすると60円。しかしながら60円はポリオワクチン3個分に相当し、3人を助けることができます。

今回、この「エコキャップ集め」の取り組みの中心となった生徒達は、「ペットボトルキャップ集めは大変でしたが、皆で集めたキャップは環境にもやさしく、かつ誰かを助けることができうれしい」という感想を聞かせてくれました。

子どもたちは、自分たちで考え、実行し、成功させることによって、多くのものを得る事が出来ました。JICA の出前講座をきっかけに、身近なところから出来る国際協力が始まりました。



ペットボトルキャップがこんなにたくさん集まりました!!

～ 2008年度 教師海外研修に参加して～ マラウイ共和国

2008年の夏、中国5県、8名の先生方が約2週間の日程でアフリカ南部のマラウイ共和国に派遣されました。マラウイは、人口 約1,392万人(2006世銀)、面積、日本の約1/3の、アフリカのイメージとは異なる、一年中、高原のような比較的過ごしやすい気候の国です。平均年齢39歳、HIV/AIDSの問題を抱えています。日本では、まだまだ、知名度の低い国ですが、暖かな気持ちの人々が住む国です。

先生たちは、マラウイに滞在中、青年海外協力隊の活動の視察、教育現場の訪問、そして、マラウイの子供たちに平和の授業を英語で行うなどさまざまな体験をかさねました。



書道の授業風景

マラウイでは、どんなことを感じて、どんなことを子供たちに伝えたいと思ったのでしょうか。参加した先生たちの感想をきいてみました。

開発途上の国に行って実際に見聞きできるということは、教師にとって本当に素晴らしいことだと思います。事前に自分の思いを持って行けたことで、更に子どもたちに伝えていきたいという思いも高まりました！

マラウイを選んでいただけたことに本当に感謝しています。日本の子どもたちに学んでほしいことがたくさん見つかりました。マラウイの子どもたちの現状、学ぶ姿のすばらしさ、生きるということ、幸せとは、課題に立ち向かう人々の活動の熱い思い etc、自分自身が考えさせられること、伝えたいことばかりです。机上ではわからないことを肌で感じる事ができ、生涯の宝物となりました！

特に、現地の小学校 / 中学校の視察（授業参観）および研修に参加した日本人の先生方によるマラウイ人生徒に向けた平和授業についての感想です。

広島原爆の話を実際に聞いてくれる様子に、人種や文化が違ってても平和を願う同じ人間であることを強く感じました。マラウイでもセカンダリー（中高等学校）で原爆のことを勉強し、現在も広島は焼け野原のイメージを多くの人が持っていると感じました。原爆のことを伝えるだけでなく、その後の人々の努力や協力によって、発展した今の広島を伝えていくことも大切なことだと思いました。

マラウイとは正反対の国で生まれ育った日本人の自分が、マラウイの生徒に何が一体伝えられるのか、どう伝えればよいのか、英語が十分に使いこなせない自分にとって、今まで経験したことのない課題設定でした。授業参観を通じ、大切なのは「教える側の情熱」であり、一生懸命教えよう、伝えようとする姿勢と、ひたむきに学ぼうとするマラウイの生徒達が合致すれば、言葉の壁はそれほど大きな問題ではないのだと感じ、授業実践でも強く実感しました。授業後のアンケート(感想)に「良かった」「楽しかった」「ためになった」と書いてくれていたことが、素直に喜びに感じました。ボロボロの教室、机もイスも教科書もなく、床に座って真剣に授業を受ける姿を見た時、たくさんのことを教えたい・伝えたいという意欲が湧き上がり、教育で最も大切なのは「教える側の気持ち」だということを変更して確認する機会になりました。

また、ある先生から次の感想をいただきました。

なぜ、教師が海外研修へ行くのか？という問いの答えは、2週間の研修で明確な結論が出たように思います。マラウイで私たちが見聞したものを一人でも多くの日本の子供達に伝えることが可能な職業が『教師』だからです。ホームビジット先のカブク小学校の副校長先生の言葉が忘れられない。「教育は光。大統領だろうが、どんな偉い人でも学校で教育を受ける。そんな教師という職業を誇りに思う」。何と格好良く、輝いた言葉でしょう。このような経験は一生の中でできることはありません。この経験を語ることがひょっとしたら、マラウイや開発途上国のことを身近に考え、協力隊員になりたいと思う子どもを誕生させるきっかけになるかもしれないと思いました。『国際理解教育』が楽しみになりました。

帰国後、先生方は開発途上国及び国際協力に対する見聞を広め、各々の教育現場で授業実践に取り組みられました。

子供たちは、目を輝かせて、先生方の経験を吸収することでしょう。

「マラウイでの経験を子供たちに ...」先生方の熱い思いを子供たちに伝えられるよう、これからも JICA は教育現場への開発教育支援を続けます。

教師海外研修の詳細は及び先生方の報告等は

JICA 中国 ホームページ

<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>

に記載されています。



マラウイの子どもたちの笑顔

6 . 大学との連携協力

大学連携の意義

JICA にとって大学との連携は、事業の質的向上、援助人材の育成、地域発の事業展開の活性化などにメリットが生じる可能性があり、特に、知の集合体として大学が蓄積されてきた知見を国際協力事業に一層活用させて頂きたいと思っております。また、大学側にとっては、JICA との連携により研究のフィールド獲得の可能性の拡大や、国際化の一層の促進につながる、等のメリットが生じる可能性があります。



H20アジア「ノンフォーマル教育拡充」閉校式

JICA 中国における大学連携

JICA 中国の主な業務は、海外からの研修員の受入と市民参加協力の実施です。前者については、各大学の優位な分野において、教育機関としての力を発揮し人材育成に寄与いただいております。後者については、青年海外協力隊等ボランティアの海外派遣、地域 NGO による海外での草の根技術協力の支援、学生等を対象にした開発教育（国際理解教育）支援です。下表はこれらの業務での平成20年度における連携状況です。このように、大学は、国際協力人材の育成拠点としても期待されます。

JICA 中国による大学連携実績（平成20年度）

事業区分	連携内容	連携先大学
研修員の受入	海外研修員の受入	広島大学、県立広島大学、鳥取大学、水産大学校、鳴門教育大学
青年海外協力隊	派遣隊員の単位認定	広島大学
	推薦入学制度の適用	広島大学
	特別説明会による募集	山口大学、島根大学、岡山外語学院、広島県立農業技術大学校、広島国際学院大学、美作大学
開発教育支援	出前講座の実施	広島大学、鳥取大学、鳥取短期大学、川崎医療福祉大学、広島女学院大学、岡山大学、広島国際学院大学、美作大学、島根県立大学、広島修道大学、梅光学院大学
	市民講座、講演の実施	広島大学、広島経済大学、倉敷芸術科学大学
	JICA 中国での異文化体験教室	広島大学、広島修道大学
連携講座	「国際協力論」授業への講師派遣	広島大学、山口大学
包括連携協力	協定書・覚書に基づく協力（特別料金による宿泊施設の使用を含む）	広島大学、山口大学



第 2 部 実績・参考資料

第2部 実績・参考資料

平成20年度事業実績

研修員受入実績.....	16
研修員福利厚生事業実績.....	19
日本語研修実施実績.....	20
青年研修受入実績.....	21
海外ボランティア新規派遣実績.....	22
草の根技術協力事業実績.....	24
市民参加協力事業（連携事業）実績.....	25
国際協力出前講座実績.....	26
JICA 中国施設見学受入実績	34
教師海外研修実績.....	35
国際理解教育研修会.....	36
教育行政及び教員組織との連携実績.....	39
研修員の学校訪問実績.....	40
高校生国際協力体験プログラム.....	41
高校生エッセイコンテスト応募実績と入賞者.....	44
中学生エッセイコンテスト応募実績と入賞者.....	45
海外視察等に関する支援・便宜供与実績.....	47
海外記者派遣実績.....	48
職場体験受入実績.....	48
広島大学との連携協力実績.....	49
海外ボランティアによる「原爆展」開催実績.....	50

参考資料

主な関係団体（中国5県）.....	51
国際協力機構の組織図.....	52
JICA 中国の沿革	53
JICA 中国の組織図・業務内容	54
JICA 中国の職員等	55

平成20年度 研修員受入実績

技術研修員受入実績

合計227名

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	集団	7	アルメニア、バングラデシュ(2)、インドネシア、シリア、トルコ、ベトナム	平成20年5月13日～平成20年7月6日	(社)海外電力調査会、(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	(社)海外電力調査会
廃棄物管理総合技術	集団	8	バングラデシュ(2)、ブラジル、ドミニカ共和国、スリランカ(2)、ウルグアイ(2)	平成20年5月13日～平成20年8月10日	広島県環境県民局環境部環境政策課	(財)ひろしま国際センター
乾燥地水資源の開発と環境評価	集団	9	ベナン、中華人民共和国、イラン、イラク(2)、マラウイ(2)、スーダン、タンザニア	平成20年7月8日～平成20年11月16日	(国)鳥取大学農学部・乾燥地研究センター	(国)鳥取大学
中等科学教育実技	集団	7	ガーナ(2)、ケニア、レソト(2)、マラウイ、タンザニア	平成20年8月5日～平成20年9月28日	(国)広島大学大学院教育学研究科	(国)広島大学
持続可能な地域観光振興	集団	11	アルゼンチン(3)、中華人民共和国、ラオス、パプアニューギニア、ソロモン、タイ(2)、チュニジア(2)	平成20年8月19日～平成20年10月26日	広島県(商工労働部)(国)広島大学大学院地域経済学私研究センター	(財)ひろしま国際センター
養殖魚の健康と安全管理	集団	8	カンボジア、インドネシア、ケニア(2)、ラオス、マダガスカル、トルコ(2)	平成20年8月26日～平成20年10月31日	(独)水産大学校	(独)水産大学校
食品加工・保全技術	集団	4	フィリピン(2)、カンボジア、中華人民共和国	平成21年1月6日～平成21年3月15日	県立広島大学、(独)酒類総合研究所	(財)ひろしま国際センター
地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成(平成20年度開始分)	集団	5	ハイチ、タイ、スリランカ、カメルーン、パプアニューギニア	平成21年3月24日～平成21年6月20日	(独)水産大学校	(独)水産大学校
南東欧地域「産業振興政策」	地域別	5	ボスニア・ヘルツェゴビナ(2)、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国(3)	平成20年6月3日～平成20年7月13日	県立広島大学	(財)ひろしま国際センター
中東地域「上水道維持管理～配水管網の維持・漏水防止～」	地域別	5	エジプト、ヨルダン、シリア(1)、イエメン(2)	平成20年7月8日～平成20年8月24日	広島市水道局	広島市水道局
中南米地域「生活排水処理」	地域別	11	ボリビア(2)、コロンビア(2)、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル(2)、グアテマラ、ニカラグア	平成20年9月2日～平成20年11月9日	東広島市	(財)ひろしま国際センター
南西アジア地域「公害防止行政」	地域別	8	バングラデシュ(2)、インド、ネパール、パキスタン、スリランカ(3)	平成20年9月23日～平成20年12月21日	広島県環境県民局環境部環境政策課	(財)ひろしま国際センター
アフリカ地域(仏語圏)「INSET 運営管理」	地域別	12	ベナン(2)、ブルキナファソ(3)、マダガスカル(2)、ニジェール(3)、セネガル(2)	平成20年11月4日～平成20年12月12日	(国)広島大学高等教育研究開発センター、広島県立教育センター	(財)ひろしま国際センター
中南米地域「中小企業振興政策」	地域別	5	ボリビア、エルサルバドル、グアテマラ、パラグアイ(2)	平成20年11月11日～平成20年12月21日	県立広島大学	(財)ひろしま国際センター
サブサハラ・アフリカ地域「平和構築としてのガバナンス能力強化」	地域別	7	ウガンダ、リベリア(2)、ルワンダ、シエラレオネ(3)	平成21年1月13日～平成21年2月15日	(国)広島大学平和科学研究センター	(財)ひろしま国際センター

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
アフリカ地域 「中小零細企業支援機関 育成」	地域別	11	ガーナ(2)、ケニア (2)、マダガスカル、 マラウイ、モザンビーク、 ナイジェリア、南 アフリカ共和国(2)、 ザンビア	平成21年1月13日～ 平成21年3月15日	広島県商工労働部	(財)ひろしま国際セン ター
アジア地域 「ノンフォーマル教育 拡充」	地域別	11	バングラデシュ、カン ボジア、インド、イン ドネシア、ネパール、 パキスタン、フィリピン、 ラオス、タイ(2)、 ベトナム	平成21年2月9日～ 平成21年3月15日	(国)広島大学教育開発国際協 力研究センター (CICE)	(国)広島大学
課題別研修 小計		134				
ガスタービン・蒸気 タービン(石炭)火力 発電	国別	2	インド	平成20年5月13日～ 平成20年7月12日	(株)パワー・エンジ ニアリング・アンド ・トレーニング サービス	(社)海外電力調査会
PREDICT-IT S C / P研修(2)	国別	1	インドネシア	平成20年6月29日～ 平成20年8月9日	(国)広島大学	(国)広島大学
エンジニア・トレー ナー向け(機械)	国別	3	トルコ	平成20年7月28日～ 平成20年8月31日	(株)パワー・エンジ ニアリング・アンド ・トレーニング サービス	中国電力(株)
エンジニア・トレー ナー向け(電気・計装)	国別	5	トルコ	平成20年7月28日～ 平成20年8月31日	(株)パワー・エンジ ニアリング・アンド ・トレーニング サービス	中国電力(株)
水質モニタリング(内 包化)	国別	1	フィリピン	平成20年8月17日～ 平成20年9月24日	アイシーネット (株)(独)水産大学 校	アイシーネット(株)
養殖魚の健康と安全 管理	国別	1	ブルネイ	平成20年8月26日～ 平成20年10月31日	(独)水産大学校	(独)水産大学校
地方行政	国別	10	カンボジア	平成20年9月30日～ 平成20年11月9日	東広島市	(財)ひろしま国際セン ター
中小企業振興	国別	2	ボスニア・ヘルツェゴ ビナ	平成20年10月21日～ 平成20年11月9日	県立広島大学	(財)ひろしま国際セン ター
理数科教員養成者研修	国別	10	南アフリカ共和国	平成20年10月28日 ～ 平成20年12月7日	(国)広島大学 CICE、 (国)鳴門教育大学自然 系	(国)広島大学、 (国)鳴門教育大学
INSET 運営管理	国別	1	セネガル	平成20年11月4日～ 平成20年12月12日	(国)広島大学高等 教育研究開発セン ター、広島県立教育 センター	(財)ひろしま国際セン ター
配電網改善	国別	10	イラク	平成20年11月16日 ～ 平成20年12月12日	中国電力(株)	(社)海外電力調査会
INSET 運営管理	国別	5	ケニア	平成20年11月16日 ～ 平成20年12月19日	広島県立教育セン ター、広島大学大 学院国際協力研究科 (IDEC)	(財)ひろしま国際セン ター
INSET 運営管理	国別	1	ザンビア	平成20年11月16日 ～ 平成20年12月19日	(財)ひろしま国際セン ター、広島県立教 育センター、(国)広 島大学 IDEC	(財)ひろしま国際セン ター
INSET 運営管理	国別	2	ナイジェリア	平成20年11月16日 ～ 平成20年12月19日	(財)ひろしま国際セン ター、広島県立教 育センター、広島大 学 IDEC	(財)ひろしま国際セン ター
メディカル・イメー ジ・プロセッシング	国別	1	インドネシア	平成20年11月17日～ 平成20年11月30日	(国)広島大学工学部	(財)ひろしま国際セン ター

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
教育行政	国別	2	ブルキナファソ	平成21年1月17日～ 平成21年1月24日	広島県立教育センター、(国)広島大学 IDEC、高等教育研究開発センター	なし
火力発電(ガスタービン)	国別	9	イラク	平成21年1月27日～ 平成21年2月27日	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	(社)海外電力調査会
節水灌漑事業特設研修	国別	14	中華人民共和国	平成21年3月15日～ 平成21年3月28日	鳥取大学農学部、愛知県	(国)鳥取大学
国別研修 小計		80				
環境管理技術能力向上	国別	1	ベトナム	平成18年9月3日～ 平成20年9月28日	(国)広島大学 IDEC	(国)広島大学
灌漑水資源土壌	国別	1	イラク	平成19年9月25日～ 平成22年4月3日	(国)広島大学大学院生物圏科学研究科環境循環系制御学専攻コース	(国)広島大学
教育開発	国別	1	イラク	平成20年2月26日～ 平成20年4月28日	(国)広島大学 IDEC	(国)広島大学
ナイル川流域農業開発・環境保全支援	課題別	3	エジプト(2)、ウガンダ	平成20年9月23日～ 平成22年10月2日	(国)鳥取大学農学部	(国)鳥取大学
アフリカ初中等教育の質的改善	課題別	7	エチオピア、ガーナ(2)、ケニア、マラウイ(2)、ナイジェリア	平成21年3月16日～ 平成23年3月31日	(国)広島大学 IDEC	(国)広島大学
長期研修 小計		13				

平成20年度 研修員福利厚生事業実績

単位：名

区分	事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間参加人数
日本文化体験	茶道教室			12	9		30	14	16			6	10	97
	華道教室		16		11		19	13		13		11	8	91
	着付け教室		9	7	1		10		29		12			68
	書道教室				6	17		13						36
	日本文化体験デー							25				39		64
	伝統芸能鑑賞				18						20			38
	注1: 次郎丸太鼓													
注2: 新年交流会														
小計														394
レクリエーション	バスツアー		17 宮島		18 神楽門前湯治村		22 宮島		73 宮島40 神楽門前湯治村33			24 宮島	12 宮島	166
	カクテルパーティー			16				35					20	71
	パソコン教室								31	8	11	3		53
	小計													290
地域交流	ホームステイ		3			8			9			3		23
	ホームビジット		2			13			16			7		38
	地域行事参加		8 注3: 御園宇 小学校 運動会			7 注4: 三原 やっさ祭り		103 注5: 西条 酒祭り	8 注6: 御園宇 区民祭り		16 注7: 御園宇 小学校 とんど祭り			142
	国際理解講座 「HIP で世界を楽しもう！」			11			14					10		35
	ボランティア相談日		5		12	5	12				7	4		45
	ロビーイベント（けん玉・民謡・空手・マンドリン他）			23	25	20	21	65	27	25				206
	ミニコンサート （ピアノ・民謡・英語落語他）					20	27						8	55
	ロビー展示 （池坊活花展示他）			4										4
	クッキング交流			5	5		11							21
	クッキング交流 （日本料理）											3		3
小計													572	
総参加人数														1,256

注1：次郎丸太鼓

西条酒造組合次郎丸太鼓チームと長束 BoomBoom による、太鼓演奏と交流会。

注2：新年交流会

研修員が餅つきと正月料理を体験するとともに、ひろしま国際プラザ運営協力者との交流を図った。外国の祝い料理の試食・日本の玩具・邦楽 KAMO による邦楽演奏の観賞。

注3：御園宇小学校運動会

研修員が広島県東広島市御園宇小学校の運動会に参加。生徒と一緒に競技を楽しみ、地域住民との交流を図った。広島県三原市の三原やっさ祭り参加（三原ライオンズクラブからの招待）研修員とライオンズクラブ会員が「国際交流チーム」として、浴衣姿で三原駅周辺をやっさ踊りを踊りながら練り歩いた。

注4：三原やっさ祭り

広島県東広島市西条駅前周辺で実施された「酒まつり」に研修員はハッピーを着て参加し、みだればやし（10/11）や酒蔵めぐり（10/12）他、日本の秋祭りを体験した。

注5：西条酒まつり

研修員が御園宇公民館で行われた区民文化祭に参加し、地域住民との交流を図った。

注6：御園宇区民祭り

研修員が広島県東広島市御園宇小学校で行われたとんど祭りに参加し、地域の人たちと交流しながら日本の伝統行事を体験した。

注7：御園宇小学校とんど祭り

平成20年度 日本語研修実施実績

研修コース名	技術研修		日本語研修							備考	
	実施機関名	受入数	集中講習	回数	時間数	受講者数	一般講習 (登録制)	回数	時間数		対象者数
地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成	(独)水産大学校	5	4/1～4/10	9	45	5	なし	0	0	0	日本語夜間実践10回
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	(社)海外電力調査会,(株)PET	7	5/19～5/23	4	20	9	なし	0	0	0	5/23岡山市立石井小学校訪問 国別2名合流
廃棄物管理総合技術	広島県環境県民局環境部環境政策課	8	5/26～5/30	4	20	8	第1期(実践)	10	20	8	日本語夜間実践10回 5/30東広島市立高屋東小学校訪問
南東欧地域「産業振興政策」	(公)県立広島大学	5	なし	0	0	0	第1期(入門)	3	6	5	日本語入門夜間3回
中東地域「上水道維持管理」	広島市水道局	5	7/14～7/18	4	20	5	第2期(実践)	6	12	4	7/18神石高原町立豊松中学校訪問 日本語夜間実践8回
乾燥地水資源の開発と環境評価	(国)鳥取大学農学部・乾燥地研究センター	9	7/14～7/18	4	20	7	なし	0	0	0	7/18広島市立安西小学校訪問
中等科学教育実技	(国)広島大学大学院教育学研究科	7	8/11～8/15	5	25	9	第3期(実践)	9	18	4	日本語実践夜間9回 国別2名合流
持続可能な地域観光振興	広島県商工労働局,(国)広島大学院地域経済システム研究センター	11	8/25～8/28	4	20	11	第4期(実践)	8	16	11	日本語実践夜間8回
養殖業の健康と安全管理	(独)水産大学校	8	9/1～9/5	5	25	7	なし	0	0	0	日本語実践夜間8回
中南米地域「生活排水処理」	東広島市	11	9/11～9/18	4	20	11	第5期(実践)	9	18	11	9/16岡山市立西大寺中学校訪問 日本語実践夜間9回
南西アジア地域「公害防止行政」	広島県環境県民局環境部環境政策課	8	10/6～10/10	4	20	8	第6期(実践)	10	20	8	10/10広島県立広高等学校訪問 日本語実践夜間9回
カンボジア「地方行政」	東広島市	10	なし	0	0	0	第2期(入門)	3	6	10	日本語入門夜間3回
南アフリカ共和国「理数科教員養成者研修」	(国)広島大学CICE,(国)鳴門教育大学自然系	10	なし	0	0	0	第3期(入門)	3	6	10	日本語入門夜間3回
アフリカ地域(仏語圏)「INSET運営管理」	(国)広島大学高等教育研究開発センター,広島県立教育センター	12	なし	0	0	0	第4期(入門)	3	6	13	日本語入門夜間3回 国別1名合流
中南米地域「中小企業振興政策」	県立広島大学	5	なし	0	0	0	第5期(入門)	3	5.5	4	日本語入門夜間3回
イラク「配電網改善」	中国電力(株)	10	なし	0	0	0	第6期(入門)	3	6	10	日本語入門夜間3回
アフリカ地域(英語圏)「INSET運営管理」	(国)広島大学高等教育研究開発センター,広島県立教育センター	8	なし	0	0	0	第7期(入門)	3	6	7	日本語入門夜間3回
食品加工・保全技術	広島県立食品工業技術センター	4	1/13～1/16	5	25	4	第7期(実践)	8	16	4	日本語実践夜間8回
サブサハラアフリカ地域「平和構築としてのガバナンス能力強化」	(国)広島大学平和科学研究センター	7	なし	0	0	0	第8期(入門)	3	6	7	日本語入門夜間3回
アフリカ地域「中小零細企業支援機関育成」	(財)ひろしま国際センター,広島県商工労働局	12	1/26～1/29	4	20	11	第8期(実践)	8	16	10	1/23三原市立幸崎中学校訪問 日本語実践夜間8回
アジア地域「ノンフォーマル教育拡充」	(国)広島大学CICE	11	なし	0	0	0	第9期(入門)	3	6	10	日本語入門夜間3回
地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成(H21)	(独)水産大学校	5	3/30～3/31	2	10	5	なし	0	0	0	H20年度実施分のみ
合計30コース(242名)		178	13コース	58	290	100	17コース	95	189.5	136	

- 集中講習は、計25時間又は50時間コース。原則として、月曜日から金曜日の5日間(5時間/日)実施。(祝祭日を除く)
- 一般講習(実践コース)は、計20時間コース。原則として、火曜日から木曜日のうち週2日(2時間/日)ずつ5週間実施。ただし、受講希望者が5名以上(1コース10名程度)の場合のみコース開設。(実践コース:集中講習受講者対象)
- 一般講習(入門コース)は、計6時間コース。原則として、研修の第1週又は第2週に計3日間(2時間/日)実施。(入門コース:集中講習未受講者対象)
- 特別活動は、原則として、月曜日又は金曜日に週1日(1～2時間/日)程度実施。(祝祭日及び福利厚生事業実施日等を除く)
- 1クラス定員13名まで、14名以上は2クラス編成とする。
- 「地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成(H21)」については、H20年度実施分の3/30・3/31のみ。

平成20年度 青年研修受入実績

合 計：5件
参加者数：86名

県名	国・地域名	分野	人数	受入団体	受入期間
島根県	フィリピン	情報通信技術	16	島根県地域国際交流協会連合会	平成20年10月13日～ 平成20年10月30日
山口県	中華人民共和国	環境行政	19	宇部環境国際協力協会	平成20年10月21日～ 平成20年11月7日
山口県	アフリカ（英語圏）	情報通信技術	13	世界青年徳山友の会	平成20年11月3日～ 平成20年11月20日
鳥取県	タイ	ボランティア活動	16	とっとり青友会	平成20年11月10日～ 平成20年11月27日
岡山県	ベトナム	就労支援 / 職業訓練	22	津山と世界を結ぶ会	平成20年12月9日～ 平成20年12月26日

平成20年度 海外ボランティア新規派遣実績

(1) 青年海外協力隊新規派遣実績

合計 100名

県名	派遣国	職種
鳥取 10名	バングラデシュ	小学校教諭
	ヨルダン	森林経営
	ウズベキスタン	青少年活動
	モザンビーク	助産師
	ボリビア	保健師
	カンボジア	小学校教諭
	シリア	日本語教師
	ドミニカ共和国	村落開発普及員
	モザンビーク	PCインストラクター
	ウガンダ	村落開発普及員
島根 10名	エルサルバドル	助産師
	バングラデシュ	小学校教諭
	フィリピン	作業療法士
	カンボジア	理数科教師
	ニジェール	体育
	タンザニア	薬剤師
	ウガンダ	村落開発普及員
	エチオピア	食用作物・稲作栽培
	インド	日本語教師
	中華人民共和国	日本語教師
広島 36名	スリランカ	上下水道
	バングラデシュ	村落開発普及員
	ニカラグア	青少年活動
	エジプト	美術
	ホンジュラス	音楽
	スリランカ	養護
	モロッコ	体育
	ニカラグア	土壌肥料
	サモア	理数科教師
	サモア	理数科教師
	カメルーン	放送
	ウガンダ	薬剤師
	パナマ	感染症対策
	モルディブ	陸上競技
	ウガンダ	村落開発普及員
	ベトナム	村落開発普及員
	ブータン	電気設備
	カンボジア	幼児教育
	ザンビア	理数科教師
	セネガル	村落開発普及員
	パラグアイ	服飾
	ガーナ	プロگرامマイサー
	ガーナ	保健師
	フィジー	環境教育
	タンザニア	自動車整備
	ウガンダ	土木
	ドミニカ共和国	村落開発普及員
	ドミニカ共和国	理数科教師
	マラウイ	村落開発普及員
	ベトナム	村落開発普及員
	ベリーズ	村落開発普及員
	ウガンダ	青少年活動
	ウガンダ	家畜飼育
	ウガンダ	家政
	ウガンダ	青少年活動
	インド	柔道

県名	派遣国	職種
岡山 24名	エルサルバドル	助産師
	ザンビア	青少年活動
	パラオ	小学校教諭
	ガーナ	理数科教師
	ガボン	エイズ対策
	ケニア	青少年活動
	フィジー	体育
	グアテマラ	理学療法士
	スリランカ	保健師
	ネパール	保健師
	エクアドル	小学校教諭
	タンザニア	放送
	パラグアイ	日本語教師
	パプアニューギニア	感染症対策
	ジャマイカ	体育
	ラオス	村落開発普及員
	ベナン	栄養士
	マラウイ	果樹栽培
	ウガンダ	行政サービス
	メキシコ	村落開発普及員
	セネガル	コンピュータ技術
	ブルキナファソ	村落開発普及員
	マレーシア	組織培養
	ヨルダン	文化財保護
山口 20名	ウガンダ	小学校教諭
	マレーシア	体育
	エルサルバドル	コンピューター技術
	ヨルダン	幼児教育
	中華人民共和国	理学療法士
	インドネシア	理数科教師
	ニジェール	栄養士
	ザンビア	理数科教師
	セントビンセント	作業療法士
	ペルー	観光業
	ラオス	助産師
	ベトナム	村落開発普及員
	バヌアツ	小学校教諭
	カンボジア	青少年活動
	マラウイ	理数科教師
	フィリピン	家畜飼育
エチオピア	理数科教師	
セネガル	村落開発普及員	
エチオピア	食用作物・稲作栽培	
ヨルダン	文化財保護	

* 青年海外協力隊：一般隊員、一般短期(緊急)隊員、シニア隊員、シニア隊員緊急派遣、調整員、調整員短期を含む。

(2) シニア海外ボランティア新規派遣実績

合計 27名

県名	派遣国	職種
島 根 4名	タイ	衛生工学
	エジプト	金属加工
	エクアドル	理数科教師
	ホンジュラス	音楽
広 島 13名	ネパール	体育
	エクアドル	学校運営
	パラオ	電気通信
	ラオス	上下水道
	タイ	食品加工
	インドネシア	手工芸
	モンゴル	電力
	ネパール	理数科教師
	ネパール	溶接
	ドミニカ共和国	廃棄物処理
	パラオ	上下水道
	ベトナム	土木
	ガイアナ	農畜産物加工
岡 山 7名	ウルグアイ	日本語教師
	ウズベキスタン	考古学
	エクアドル	小学校教諭
	シリア	電子工学
	マラウイ	建設機械
	スリランカ	手工芸
	ネパール	陶磁器
山 口 3名	ウズベキスタン	服飾
	パラグアイ	文化
	カンボジア	青少年活動

(3) 日系社会青年ボランティア新規派遣実績

合計 2名

県名	派遣国	職種
広 島	ブラジル	日本語教師
山 口	ブラジル	高齢者介護

平成20年度 草の根技術協力事業実績

(草の根協力支援型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
パラオ	パラオ共和国での学校検診実施のための技術協力	日本パラオ協会	平成17年11月1日～平成20年10月31日
インドネシア	エンレカン県酪農研修センター運営支援プロジェクト	特定非営利活動法三瓶スラウェシ友好促進センター	平成18年4月5日～平成21年3月31日
ラオス	ラオス国ルアンナムター県ナムハー地区における農林業による村おこし	アジア農村協力ネットワーク	平成20年7月1日～平成23年3月31日

(草の根パートナー型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
カンボジア	小学校体育科指導書作成支援プロジェクト	特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド	平成18年2月1日～平成20年7月31日
ホンジュラス	エルパライス県母子保健向上支援事業	特定非営利活動法人AMDA 社会開発機構	平成19年8月10日～平成22年1月31日
ザンビア	カニャマ及びマケニ地区における結核・エイズ統合支援事業	特定非営利活動法人AMDA 社会開発機構	平成20年6月2日～平成22年11月30日

(地域提案型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
中華人民共和国	日中療育技術交流事業	鳥取県立総合療育センター	平成18年10月16日～平成21年3月31日
中華人民共和国	寧夏回族自治区における汚泥総合利用技術の確立	島根県	平成19年8月20日～平成22年3月31日
カンボジア	カンボジアにおける小学校教員の授業能力の向上	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	平成20年10月1日～平成23年3月31日

平成20年度 市民参加協力事業(連携事業)実績

実施回数： 11件
参加者総数：11,999名

開催県	市町村	事業名	実施日	会場	共催	後援	対象者	参加人数
鳥取県	鳥取市	全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会 第2回中国ブロック研究大会(鳥取大会)	7月31日	白兔会館	NPO 法人全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会、鳥取県海外子女教育・国際理解教育協議会	文部科学省、(財)海外子女教育振興財団、鳥取県教育委員会、鳥根県教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、山口県教育委員会、鳥取市教育委員会	中国5県の教育関係者、国際理解教育に関心のある方	105
鳥根県	松江市	地球時代の学び 実践研究会夏季研修会	8月4日	タウンプラザしまね	鳥根県国際理解教育研究会(地球時代の学びの実践研究会)	鳥根県教育委員会	鳥根県内各小・中学校 教職員	50
岡山県	倉敷市	世界の子どもの絵画展	9月26日～28日	イオンモール倉敷	岡山県		一般県民	1,700
		国際協力・貢献フェア in くらしき	10月18日～19日	倉敷市芸文館	倉敷市国際交流協会、倉敷国際ふれあい広場2008実行委員会、倉敷市	倉敷芸術科学大学	倉敷市民、近隣市民・県民	1,500
広島県	東広島市	東広島市生涯学習大学システム「JICA 市民講座」	4月17日	広島大学	東広島市		高校生以上の一般市民	41
	広島市	特別客員教授による特別講義「未来をつかむ-自分を磨く-」	7月3日	広島経済大学			一般市民	100
	東広島市	酒まつり「ひろしま国際ひろば」	10月11日～12日	西条駅周辺			一般市民	2,200
	東広島市	ひろしま国際プラザ施設公開	10月24日	ひろしま国際プラザ			一般市民	66
	広島市	国際交流・協力の日	11月16日	広島国際会議場、広島平和記念資料館東館、平和大通り緑地帯、平和記念公園	(財)ひろしま国際センター、広島市、(財)広島平和文化センター	広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島県PTA連合会、広島市PTA協議会、広島県高等学校PTA連合会、広島県私立中学高等学校教育後援会、中国新聞社、(株)中国放送、広島テレビ放送(株)、(株)広島ホームテレビ、(株)テレビ新広島、広島エフエム放送(株)	一般市民	6,150
広島市	カンボジア・スタディーツアー	2月16日～23日	カンボジア	(財)ひろしま国際センター		18歳以上の広島県民または県内に通勤通学されている方	17	
山口県	山口市	山口県国際理解教育研究大会	8月22日	防長苑	山口県国際理解教育研究会	山口県教育委員会、山口市教育委員会、(財)山口県国際交流協会	教員、一般市民	70

平成20年度 国際協力出前講座実績

実施総回数： 201件
参加者総数：17,249名

県名	実施日	派遣依頼団体（ ）内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
鳥取県	4月15日	鳥取大学医学部サークル 「国際保健友の会ハクナマタタ」 (鳥取大学医学部)	国際保健に興味のある 医学生・看護学生	17	JICAについて、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	5月27日	倉吉ロータリークラブ (倉吉信用金庫 うつぶき支店)	会社社長他	46	JICAについて、海外ボランティアの体験談(スリランカ)、外国の事情について	国際協力推進員
	5月30日	鳥取市立福部小学校	小学6年生	31	外国の事情について(バングラデシュ)、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	6月3日	鳥取市立福部小学校	小学6年生	31	外国の事情について(バングラデシュ料理作り)、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	6月10日	鳥取市立福部小学校	小学6年生	31	外国の事情について(バングラデシュ)、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	6月22日	広場吉方のつどい(尾崎かおる連絡所)	一般人	30	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	6月27日	堺港市職労女性部(境港市民会館)	堺港市役所女性職員	30	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	6月28日	鳥取短期大学 国際文化交流学科 (倉吉市成徳公民館)	大学2年生	13	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	6月29日	IEA 江府(江府町役場)	IEA 江府会員、町民	19	外国の事情について(ラオス近隣の国)、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	7月4日	鳥取短期大学	大学2年生(幼児教育保育学科)	156	外国の事情について(スリランカ、アジア)、海外ボランティア体験談	国際協力推進員
	7月9日	鳥取県立保育専門学院	専門学校2年生	5	JICAについて、外国の事情について(スリランカ・アジア)、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	7月17日	鳥取県立八頭高等学校	高校2年生	38	ワークショップ「貿易ゲーム」	国際協力推進員
	7月18日	上道小学校 人権教育部	小学1～6年生、保護者	35	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	9月8日	鳥取市立大正小学校	小学5年生	26	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	9月25日	鳥取県立倉吉西高等学校	高校1～3年生	27	JICAについて、ODA事業について、外国の事情について	国際協力推進員
	9月25日	鳥取県立保育専門学院	専門学院1年生	35	外国の事情について	国際協力推進員
	9月30日	鳥取市教育委員会 生涯学習課 (鳥取市文化センター)	一般成人	22	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月7日	鳥取市教育委員会 生涯学習課 (鳥取市文化センター)	一般成人	26	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月24日	鳥取市立高草中学校	中学1～3年生	13	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月12日	鳥取市立北中学校	中学1年生	153	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月12日	八頭町立八東中学校	中学2年生	43	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	11月27日	鳥取県立鳥取中央育英高校	高校3年生	39	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	12月4日	鳥取県立倉吉西高等学校	高校1～3年生	30	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	12月11日	鳥取市立明治小学校	小学6年生	13	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
12月12日	鳥取市立福部中学校	中学1～3年生	17	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	
12月24日	美作大学短期大学部幼児教育学科	大学1年生	70	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
鳥取県	1月15日	岩美町立岩美北小学校	小学4～6年生	20	外国の事情について(スリランカ)海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	1月16日	倉吉市立久米中学校	中学2年生	59	外国の事情について	国際協力推進員
	1月27日	鳥取県立八頭高等学校	高校2年生	39	外国の事情について(スリランカ)海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2月2日	鳥取短期大学	大学1年生	160	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2月18日	境港市立上道小学校	小学6年生、教員	55	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2月19日	南部町立西伯小学校	小学6年生	88	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2月20日	良善幼稚園	幼稚園児(年中)、教師	71	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2月25日	八頭町立八東中学校	中学3年生	25	外国の事情について、ワークショップ	国際協力推進員
	2月26日	八頭町立八東中学校	中学3年生	25	外国の事情について、ワークショップ	国際協力推進員
	3月11日	鳥取ワイズメンズクラブ(鳥取市湖山町YMCA会館)	クラブのメンバー	10	JICAについて、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	3月19日	国際ソロプチミスト鳥取(ホテルニューオータニ鳥取)	会員	33	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	3月23日	鳥取県立青谷高等学校	高校1・2年生	269	JICA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
島根県	5月22日	島根県立松江農林高等学校	高校3年生	40	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	6月16日	国立病院機構 松江病院 療育指導室	患者、その家族	40	外国の事情について	国際協力推進員
	6月26日	松江市立本庄中学校	中学3年生	31	海外ボランティア体験談	国際協力推進員
	7月4日	出雲市立出雲第二中学校	中学1年生	17	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	7月5日	邑南町立羽須美中学校(阿須那公民館)	中学1～3年生	71	ワークショップ「貿易ゲーム」	国際協力推進員
	8月6日	日本語ボランティアグループ"だんだん"(島根県知事公舎)	日本語講師	19	外国の事情について(中国)海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	8月22日	檜山コミュニティセンター	檜山地区青少年育成会議役員	28	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	9月16日	島根県環境生活部文化国際課(島根県庁)	大学生、社会人	11	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	9月25日	松江市立城北小学校	小学6年生、教員	95	JICA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	10月7日	島根県立松江工業高等学校	高校3年生	90	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月9日	浜山中学校	中学3年生	37	外国の事情について、貿易ゲーム	国際協力推進員
	10月14日	出雲市立河南中学校	中学2年生	152	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月17日	松江市立宍道中学校	中学3年生	91	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	10月18日	社団法人島根県雇用促進協会(浜田市いわみーる)	概ね45歳以上の在職者	11	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月22日	出雲市立大津小学校	小学6年生	18	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	10月24日	浜山中学校	中学3年生	40	外国の事情について、貿易ゲーム	国際協力推進員
	10月29日	島根県立大学 浜田キャンパス学友会執行委員会	大学生	15	外国の事情について	国際協力推進員
11月4日	島根県立出雲商業高等学校	高校3年生	19	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
島根県	11月9日	江の川高校インターアクトクラブ (島根県少年自然の家)	高校1～2年生	80	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員 青年海外協力隊経験者
	11月15日	社団法人島根県雇用促進協会 (出雲市民会館)	概ね45歳以上の在職者	6	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月21日	島根県教育庁保険体育課 (島根県出雲合同庁舎)	スポーツ関係者	35	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	11月28日	松江市立佐太小学校	小学5・6年生	44	JICAについて、外国の事情について(コスタリカ、中南米)海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	12月10日	島根県立大学	大学2年生	25	JICA事業について、ODAについて	国際協力推進員
	12月20日	松江市立女子高等学校	中学生、高校生	30	外国の事情について(エイズの世界の現状)	青年海外協力隊経験者
	1月14日	雲南市立海潮中学校	中学1～3年生	60	JICAについて、ODAについて、海外ボランティアの体験談、外国の事情について(ガーナ)	青年海外協力隊経験者
	1月22日	松徳幼稚園	園児、職員、保護者	29	外国の事情について(コスタリカ、ガーナ)海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月3日	松江しんじ湖ロータリークラブ (松江しんじ湖温泉 夕景湖畔すいてんかく)	ロータリークラブ会員	70	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2月8日	川本町立三原小学校	小学1～6年生、保護者、教員、地域の方	40	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2月13日	松江市立宍道小学校	小学6年生	65	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2月21日	社団法人島根県雇用促進協会 (くにびきメッセ)	中高年齢者	12	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	日系社会シニアボランティア経験者
	2月25日	吉賀町立六日市小学校	小学6年生	25	JICA事業について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	3月1日	雲南市海潮公民館	海潮地区内の大人	61	外国の事情について(ガーナ)海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	3月5日	横田中学校	中学2年生	35	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	3月13日	西ノ島町立美田小学校	小学6年生	12	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	シニア海外ボランティア経験者
岡山県	5月15日	岡山県立岡山南高等学校	高校3年生	43	外国の事情について(ハンガリー)	青年海外協力隊経験者
	5月27日	岡山市立平福小学校	小学6年生	117	JICAについて、開発教育の参加型アクティビティ、海外ボランティアの体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者
	6月5日	岡山市立岡北中学校	中学3年生	150	海外ボランティアの体験談、外国の事情について、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	青年海外協力隊経験者
	6月11日	岡山県立岡山操山高等学校	高校1年生	290	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者
	6月29日	岡山市立中山小学校	PTA	100	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者
	7月9日	瀬戸内市立国府小学校	小学5年生	59	外国の事情について(マラウイ・アフリカ地域)、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	7月16日	岡山県立倉敷南高等学校	高校3年生(1,2年生希望者)	50	JICA事業について、ODA事業について、外国の事情について(開発教育・紛争国)	JICA職員
	7月30日	岡山市立横井小学校	小学4～6年生、保護者、職員	27	外国の事情について(チュニジア)海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	8月24日	岡山学芸館高等学校	高校1～2年生	95	JICA事業について、ワークショップ(フォトランゲージを使った)	青年海外協力隊経験者
	9月18日	岡山市立建部中学校	中学1～3年生	35	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
岡山県	10月1日	岡山県立岡山一宮高等学校	高校1・2年生	700	外国の事情について(アフリカ)	青年海外協力隊経験者
	10月2日	岡山県立岡山朝日高等学校	高校2年生	340	ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月22日	岡山県立津山商業高等学校	高校1～3年生	630	ODA事業について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月27日	岡山県立勝山高等学校	高校2年生	158	JICA事業について、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者 青年海外協力隊経験者
	10月30日	岡山県立高梁高等学校	高校1、2年生	400	外国の事情について(タンザニア)	青年海外協力隊経験者
	11月4日	ソワニ工看護専門学校	看護学生2年生	38	JICAについて、海外ボランティアの体験談について	青年海外協力隊経験者
	11月5日	岡山県立総社南高等学校	高校2年生(国際系)	77	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月6日	岡山県立岡山南高等学校	高校3年生	26	外国の事情について(食文化)	青年海外協力隊経験者
	11月7日	倉敷市立老松小学校	小学4年生	164	外国の事情について(アフリカ、ケニア)、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月8日	早島小学校	小学1年生～6年生(親子)	14	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月10日	岡山市立岡山後楽館高等学校	高校2～4年生	60	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月11日	岡山学芸館高等学校	高校1年生	25	外国の事情について(南米コスタリカ)	国際協力推進員
	11月12日	岡山県立岡山御津高等学校	高校1年生	141	外国の事情について(東南アジア)	日系社会青年ボランティア経験者
	11月14日	岡山芳泉高等学校	高校1年生	30	JICA事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月14日	岡山市立京山中学校	中学1年生	230	ワークショップ「世界がもし143人の京山村だったら」	日系社会青年ボランティア経験者 国際協力推進員
	11月15日	財団法人岡山県環境保全事業団(環境学習センター「アスエコ」)	一般人	11	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月21日	津山市立弥生小学校	小学3年生	90	海外の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	12月4日	岡山県立岡山城東高等学校	高校2年生	60	JICAについて、海外ボランティアの体験談、外国の事情について(アジア、アフリカ)	青年海外協力隊経験者
	12月9日	倉敷市立玉島小学校	小学6年生	93	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者
	12月17日	岡山大学法学部	大学1～4年生(法学部中心)	25	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	1月5日	川崎医療福祉大学	大学1～2年生	70	JICAについて、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	1月10日	岡山市国際交流協議会(友好交流サロン)	一般人	47	外国の事情について(ブルガリア)	国際協力推進員
	1月20日	岡山県立津山商業高等学校	高校3年生	41	ODAについて、外国の事情について、	青年海外協力隊経験者
	1月29日	岡山市立鹿田小学校	小学6年生	144	JICAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月3日	岡山県婦人問題懇談話会(岡山国際交流センター)	県内の婦人団体の代表者等	21	外国の事情について(ブラジル)	日系社会青年ボランティア経験者
	2月3日	玉野市立鉾立小学校	小学6年生	15	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月4日	倉敷市立福田南中学校	中学2年生	230	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者
	2月14日	岡山県国際課(きらめきプラザ)	一般市民	36	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月20日	岡山県立西大寺高等学校	高校1・2年生	79	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
岡山県	3月4日	備前市立伊部小学校	小学6年生	64	JICA について、ODA について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者 青年海外協力隊経験者
	3月17日	岡山県立和気閑谷高等学校	高校2年生	120	JICA について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
広島県	5月15日	広島女学院大学	大学2年生以上	57	JICA 事業について、海外ボランティアの体験談、ODA 事業について	国際協力推進員
	5月16日	広島市立祇園中学校	中学2年生、保護者	216	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者
	5月29日	広島市立祇園東中学校	中学2年生	180	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	5月30日	広島大学	経済学部1年生	18	海外ボランティアの体験談、外国の事情について(北米・メキシコ)	日系社会青年ボランティア経験者
	6月14日	広島大学附属小学校	小学生、保護者	608	外国の事情について、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	青年海外協力隊経験者 国際協力推進員
	6月20日	広島市立己斐上中学校	中学3年生	40	外国の事情について	青年海外協力隊経験者
	6月25日	福山市立旭丘小学校	小学6年生	110	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	6月27日	尾道市立長江中学校	中学1～3年生	34	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	7月2日	広島国際学院大学	大学生(工学部・情報学部・現代社会学部)、教員	45	外国の事情について(中南米・アフリカ・東南アジアなど)、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	7月6日	三原市少年少女海外研修・交流事業実行委員会(三原リージョンプラザ)	中学2年生、事務局員等	20	JICA 事業について、海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者
	7月10日	広島市己斐中学校	中学3年生	140	ODA について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	8月7日	東広島市立河内小学校	小学1年生～6年生	73	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	9月1日	ニカラグア支援グループ ニカラグアの風(カトリック司教館)	社会人	9	外国の事情について	国際協力推進員
	9月4日	広島市立東原中学校	中学3年生	180	JICA について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者 国際協力推進員
	9月18日	広島市立戸坂中学校	中学3年生	69	JICA 事業について、ODA について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	9月25日	広島新庄中学校(北広島町図書館)	中学1～3年生	181	JICA 事業について、ODA について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	9月30日	広島市立五日市小学校	小学5年生	136	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者
	9月30日	広島市立東浄小学校	小学6年生	109	外国の事情について(エルサルバドル)	青年海外協力隊経験者
	10月6日	安芸高田市立甲田中学校	中学1年生	51	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月9日	広島市立宇品中学校	中学3年生	201	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者 国際協力推進員
	10月15日	北広島町立川迫小学校	小学1～6年生	36	JICA について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月16日	広島市立戸坂中学校	中学3年生	74	JICA 事業について、ODA について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月24日	広島県立神辺高等学校	高校1年生	160	JICA 事業について、海外ボランティアの体験談	JICA 職員
	10月29日	呉市立昭和南小学校	小学5年生	47	ODA について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	10月29日	広島県立可部高等学校	高校1・2年生	550	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月29日	東広島市立高美が丘小学校	小学6年生	132	JICA について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
広島県	10月30日	広島市立戸坂中学校	中学3年生	74	JICA 事業について、ODA について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月31日	広島県立神辺高等学校	高校1年生	160	JICA 事業について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月6日	広島県立広島井口高等学校	高校3年生	330	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月11日	広島市立狩小川小学校	小学6年生	44	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者
	11月13日	ノートルダム清心中学校	中学2年生	185	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月14日	金江学区人権尊重推進協議会(金江公民館)	自主防災会「かなえ」(各民主団体の代表者)	45	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月15日	アイセック広島委員会(広島市青少年センター)	大学2・3年生	6	JICA について、海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者
	11月15日	NPO 法人 日本ケニア協会(広島サンプラザ)	一般人	120	外国の事情について(ケニア)	青年海外協力隊経験者
	11月19日	財団法人広島市ひと・まちネットワーク 中央公民館	高齢者	35	外国の事情について(中近東エリア、アフリカ) 海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月20日	広島県立賀茂高等学校	高校1年生	36	JICA について、ODA について、外国の事情について	JICA 職員
	11月22日	広島県立御調高等学校(尾道市立御調中学校)	中学生、高校生、留学生、語学教師、地域の外国の方	69	JICA 事業について、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員
	11月26日	広島県立廿日市西高等学校	高校1年生	21	JICA 事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月28日	広島市立祇園東中学校	中学3年生	190	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	12月5日	広島修道大学	大学2・3年生	7	ODA について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	12月9日	広島市立三田小学校	小学6年生、保護者	56	外国の事情について(途上国)	青年海外協力隊経験者
	12月18日	広島県立広島井口高等学校	高校1年生	31	海外ボランティアの体験談	日系社会青年ボランティア経験者
	1月26日	福山市立大門中学校	中学2年生	135	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月9日	東広島市立竹仁小学校	小学5・6年生	7	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月18日	福山市立福山高等学校	高校1年生	187	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月18日	広島市立伴小学校	小学6年生	120	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者
	2月19日	広島市立広島特別支援学校	高校1年生	78	外国の事情について(ブラジル)	日系社会青年ボランティア経験者
	2月24日	呉市医師会看護専門学校	専門学生1～3年生、教員	100	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月25日	庄原市立粟田小学校	1年生～6年生	29	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者 日系社会青年ボランティア経験者
	3月4日	広島県立広島南特別支援学校	小学1～6年生	52	外国の事情について(ブラジル)	日系社会青年ボランティア経験者
	3月4日	呉市立川尻小学校	小学6年生	87	JICA 事業について、ODA について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	3月6日	広島市立吉島小学校	小学5・6年生	110	JICA 事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者 国際協力推進員
	3月10日	広島市立五日市小学校	小学5年生	140	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
3月12日	広島インターナショナルスクール	小学4・5年生	27	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	
3月16日	東広島21ロータリークラブ(東広島平安閣)	一般人	17	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
広島県	3月16日	広島市立大洲中学校	中学1年生、教員	160	JICA 事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者 国際協力推進員
	3月21日	広島市楽々園公民館	小学生	28	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	3月28日	吉見園公民館	一般市民	12	JICA について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	3月28日	(財)広島国際センター (ひろしま国際プラザ)	一般人	100	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
山口県	5月23日	山口県立萩看護学校	看護学生3年生	37	海外ボランティアの体験談、JICA について、外国の事情について、ODA について、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	青年海外協力隊経験者 国際協力推進員
	6月4日	日本国際連合協会山口県本部 (山口県国際交流協会)	会員	30	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者
	6月18日	山口県立坂上高等学校、山口県立岩国高等学校坂上分校(山口県立坂上高等学校)	高校1～3年生	95	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	国際協力推進員
	6月20日	岩国市教育委員会事務局周東支所 生涯学習課(岩国市立相生西小学校)	保育園職員、小中学校教職員、保護者、公民館職員、人権教育推進協議会長等	17	外国の事情について、開発教育の参加型アクティビティの実践、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	7月8日	山口県ユネスコ女性連絡協議会 (山口県庁)	山口県ユネスコ女性連絡協議会 会員	20	JICA について、ODA 事業について、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	7月27日	「小さな親切」運動秋穂支部 (秋穂商工会)	老人クラブ、学校関係、ボランティア団体他	30	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	9月22日	アムネスティ宇部グループ (宇部カトリック教会)	会員、一般市民	12	外国の事情について(インドネシア)、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	9月30日	山口県立萩看護学校	看護学生3年生	25	海外ボランティアの体験談、JICA について、外国の事情について、ODA について、ワークショップ	青年海外協力隊経験者 国際協力推進員
	10月1日	山口県立日置農業高等学校	高校1年生	54	JICA について、外国の事情について、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	10月4日	(財)山口県国際交流協会 (海峡メッセ下関)	中学・高校・大学生	14	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月6日	山口中央高等学校	高校1～3年生	640	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月6日	社団法人周南青年会議所 (遠石会館)	社会人	127	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員
	10月16日	慶進中学校・高等学校	中学3年生、高校1～2年生	322	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	10月17日	YICA(山口大学会館)	学生、一般人	102	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月7日	山口市立平川小学校	小学6年生	147	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月11日	防府市立中関小学校	小学5年生、クラブ員 (小学4～6年生)	120	外国の事情について(アフリカ、マラウイ)、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	11月12日	山口県立厚狭高等学校	高校1年生	125	外国の事情について(アジア、インドネシア)、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	11月29日	「小さな親切」運動小郡支部 (小郡ふれあいセンター)	大人	50	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	12月11日	光市立島田小学校	小学生	56	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	12月12日	山口市教育委員会 串公民館	一般社会人、小学生	35	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講義内容	講師区分
山口県	12月14日	やまぐちフェアトレードネットワーク (山口大学国際交流会館)	大学生、一般社会人	30	ODAについて、外国の事情について(ヨルダン)海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	1月22日	山口県立岩国総合高等学校	高校1年生	19	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、ワークショップ、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	1月23日	国際交流セミナー実行委員会 (梅光学院大学)	大学生、一般市民	9	外国の事情について(モロッコ)海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月10日	防府ロータリークラブ (サルビアホテル防府)	ロータリークラブ会員	50	JICAについて、ODAについて、外国の事情について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	2月17日	防府市立小野小学校	小学生	44	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月21日	山陽小野田市国際交流協会 (山陽小野田市民館)	一般市民	24	外国の事情について(ヨルダン)	青年海外協力隊経験者
	2月25日	宇部市立藤山小学校	小学生	236	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者
	2月26日	周南倫理法人会(ホテルグラマシー)	社会人	25	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員
	3月21日	社会福祉法人純心聖母会 小野田老人ホーム	社会人	31	海外ボランティアについて	国際協力推進員

平成20年度 JICA 中国施設見学受入実績

訪問総件数： 32件

訪問者総数： 1,328名

実施日	県名	訪問団体	訪問者	訪問者数	内容
5月7日	広島県	広島大学生物生産学部	生物生産学部1年生	58	JICA ボランティアの体験談、施設見学、ワークショップ「世界がもし53人の村だったら」
5月14日	広島県	広島大学生物生産学部	生物生産学部1年生	59	JICA ボランティアの体験談、施設見学、ワークショップ「世界がもし54人の村だったら」
6月6日	広島県	熊野町立熊野中学校	中学2年生	110	ワークショップ「世界がもし108人の村だったら」、館内見学、民族衣装・楽器の体験
6月6日	広島県	世羅町立中央小学校	小学3～5年生	35	JICA 事業紹介、JICA ボランティアの体験談、館内見学
6月6日	広島県	世羅町立東小学校	小学3～5年生	15	JICA 事業紹介、JICA ボランティアの体験談、館内見学、民族衣装体験
6月13日	広島県	広島県立呉特別支援学校	高校3年生	28	館内見学、民族衣装や民族楽器の体験
6月18日	広島県	広島大学医学部保健学科	大学1年生(医学部保健学科)	15	JICA 事業紹介、ODA 事業について、JICA ボランティアの体験談、開発途上国の事情について、館内見学
6月25日	広島県	広島県立広高等学校	高校1年生	41	ODA 事業について、JICA ボランティアの体験談、館内見学
7月14日	広島県	広島大学	大学2年生	51	JICA 事業紹介、施設見学
7月16日	岡山県	岡山県立林野高等学校	高校1～3年生、保護者	54	開発途上国の事情について、ワークショップ「世界がもし52人の村だったら」、「セネガルのファールさんの暮らし」、「ルーマニアの子どもたちの生活」
7月24日	広島県	広島県立広島井口高等学校	高校2年生	94	JICA 事業紹介、JICA ボランティアの体験談、ワークショップ「世界がもし94人の村だったら」、館内見学
8月7日	岡山県	倉敷市国際交流協会	小・中・高校生と保護者	43	JICA 事業紹介、ODA について、館内見学、民族衣装民族楽器体験、ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」
8月27日	広島県	呉市立下蒲刈中学校	中学3年生	11	ワークショップ「ルーマニアの子どもたちの生活」、館内見学、JICA ボランティアの体験談
9月22日	広島県	三次市立田幸小学校	小学4・5年生	32	開発途上国の事情について(中国、チベット、ミャンマー)、JICA ボランティアの体験談、民族衣装体験
10月3日	広島県	三原市立幸崎中学校	中学3年生	33	JICA ボランティアの体験談、ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」、「世界がもし31人の村だったら」、館内見学、民族衣装や楽器体験
10月9日	広島県	三原市立本郷中学校	中学3年生	100	JICA 事業紹介、JICA ボランティアの体験談、ワークショップ「世界がもし94人の村だったら」、館内見学
10月10日	広島県	安芸高田市立甲田中学校	中学1年生	53	ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」、「世界がもし49人の村だったら」、館内見学、民族衣装体験
10月16日	広島県	広島大学教育学研究科	大学院博士課程前期1年生	14	JICA 事業について、ワークショップ「ルーマニアの子どもたち」
10月17日	広島県	福山市立松永中学校	中学1年生	99	JICA 事業紹介、JICA ボランティアの体験談、ワークショップ「世界がもし96人の村だったら」、館内見学
10月29日	広島県	広島県立広島高等学校	高校1年生	45	JICA 事業について、ODA について、JICA ボランティアの体験談、館内見学
11月14日	広島県	広島修道大学	大学2～3年生	8	JICA 事業について、ODA について、JICA ボランティア体験談
11月20日	広島県	北広島町立大朝中学校	中学1年生	45	JICA 事業紹介、ボランティアの体験談、ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」、「世界がもし43人の村だったら」、館内見学
11月22日	広島県	盈進中学校高等学校	中学1～高校2年生	12	JICA 事業紹介、ボランティアの体験談、開発途上国について、ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」、館内見学
1月23日	広島県	生きがいサロンあじさい	中高年	20	JICA について、ODA について、ボランティアの体験談、施設見学
1月30日	岡山県	岡山県立玉野高等学校	高校2年生	40	JICA 事業について、ワークショップ「ルーマニアの子どもたちの生活」、「世界がもし100人の村だったら」、施設見学
2月18日	広島県	世羅町立甲山中学校	中学1年生	61	JICA 事業紹介、ワークショップ「ウヨム村のブタ」、「ホンジュラスのホセ君の気持ち」、館内見学、民族衣装・楽器体験
2月19日	広島県	安芸高田市立美土里中学校	中学3年生	26	JICA の事業について、JICA ボランティア体験談、ワークショップ「世界がもし23人の村だったら」、館内見学、民族衣装・民族楽器の体験
2月20日	広島県	安芸高田市立高宮中学校	中学3年生	42	JICA ボランティアの体験談、ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」、「世界がもし39人の村だったら」、館内見学、民族衣装や民族楽器の体験談
2月26日	広島県	広島県立黒瀬特別支援学校	高等部1年生、教員	23	JICA 事業紹介、ワークショップ「世界がもし21人の村だったら」、民族衣装・楽器体験
3月1日	広島県	東広島女性連合会河内支部 河戸地区女性会	女性会役員	18	JICA 事業紹介、ODA について、民族衣装体験
3月6日	広島県	三次市立志和地小学校	小学1～6年生	17	JICA ボランティアの体験談、民族衣装や民族楽器の体験
3月8日	広島県	JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2008入賞者	エッセイコンテスト入賞者及び保護者	26	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」、施設見学

平成20年度 教師海外研修実績

応募者：12名
派遣教師：8名

国内事前研修	海外研修期間	国内事後研修	派遣国	氏名	都道府県名	学校名
第1回 5/24 ~ 25 第2回 6/14 ~ 15	7/26 ~ 8/9	第1回 9/20 ~ 21	マラウイ (8名)	尾崎 正美	岡山県	瀬戸内市立国府小学校
				三宅 典子	岡山県	岡山市立岡山後楽館高等学校
		岸野 利香		岡山県	井原市立野上小学校	
		鳴戸 由江		広島県	広島市立狩小川小学校	
		亀山 聖一		広島県	福山市立山野中学校	
		金平 佳子		山口県	防府市立中関小学校	
		細田 順子		鳥取県	鳥取県立八頭高等学校	
		吉田奈穂子		島根県	出雲市立浜山中学校	
第2回 1/24						

平成20年度 国際理解教育研修会

会場：ひろしま国際プラザ（第1・2回）、広島市留学生会館（第3回）

後援：鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、
山口県教育委員会、広島市教育委員会

国際理解教育研修会（第1回）

テーマ：体験してみよう！参加型学習

実施日：平成20年5月24日（土）

参加者：45名（鳥取県4名、島根県1名、岡山県7名、広島県24名、山口県9名）

【プログラム】

時間	内容
11:45～12:30	受付
12:30～12:40	開会 JICA 中国所長挨拶 JICA 中国所長 生井 年緒
12:40～12:45	プログラム説明・事務連絡
12:45～16:15 (休憩を含む)	開発教育・国際理解教育の視点 『参加型学習の意味と意義』について、体験を通して感じよう&考えよう！ 「20XX年 惑星Xで始まった『地球理解教育』!？」 国際理解教育の切り口 データで把握する地球の現状 ビジョンを共有しよう！その達成に向けて... 講師：(特活)国際理解教育センター 山中 令子
16:15～16:25	案内 「とことん活用！ JICA 中国開発教育支援事業」 JICA 中国 市民参加協力課 澁谷 和朗
16:25～16:30	閉会・アンケート記入 / 事務連絡

国際理解教育研修会（第2回）

テーマ：作ってみよう！国際理解教育授業プラン

実施日：平成20年9月20日（土）

参加者：43名（鳥取県5名、島根県5名、岡山県8名、広島県19名、山口県6名）

【プログラム】

時間	内 容
11:45～12:30	受付
12:30～12:35	開会挨拶 JICA 中国 次長 竹内 康人
12:35～12:40	研修の目的 JICA 中国 市民参加協力課主任 井上 明美
12:40～14:10	参加者間自己紹介 参加型学習体験 写真や具体物を活用した15分でできる参加型学習方法を紹介します。それをどのように活かし、授業に取り組むのか。流れのあるプログラム展開を体験しながら、楽しく学んでいきましょう。 (社)青年海外協力協会 宇津宮 尚子
14:10～14:25	休憩
14:25～16:15	国際理解指導案づくりについて 作業説明・演習・ミニ実践 あらかじめ準備した素材を教材として「授業案」を作成します。まずは、「素材」を把握するとともに、教材作成に必要な基礎知識やテーマ選定のための意見交換を行いましょう。準備された素材をもとに、参加型の手法を取り入れて、より効果的に伝えたいテーマを伝えることができる指導案を作成します。出来た指導案は、各グループの代表者によるミニ実践を通して、実際の活用を想定したシミュレーションを行います。 (社)青年海外協力協会 宇津宮 尚子
16:15～16:20	総括・まとめ JICA 中国 市民参加協力課主任 井上 明美
16:25～16:30	閉会・アンケート記入 / 事務連絡

国際理解教育研修会（第3回）

テーマ：聞いてみよう！学校現場での様々な取り組み

実施日：平成21年1月24日（土）

参加者：41名（鳥取県3名、島根県0名、岡山県3名、広島県19名、山口県16名）

【プログラム】

時間	内容
11:45～12:30	受付
12:30～12:35	開会挨拶 JICA 中国 市民参加協力課 課長 辻野 博司
12:35～12:55	JICA 開発教育支援事業および本研修会の目的について JICA 中国 市民参加協力課 主任 井上 明美
12:55～13:20	平成20年度 教師海外研修（マラウイ）研修報告会 研修成果の報告（15分DVD鑑賞と参加教員の一言感想）
13:20～13:25	分科会紹介（事例報告者）と会の進行についての説明
13:25～13:40	参加者間自己紹介 初めて出会った方も、旧知の仲の方も、国際理解につながる情報を共有しあっていきましょう。
13:40～13:50	移動&休憩
13:50～14:30	【分科会】 第1ラウンド ホール：教師海外研修（小学校：岸野先生） 研修室1： " （中学校：亀山先生） 研修室2： " （高 校：細田先生） 研修室3：H20 国際理解教育研修会参加者（高 校：佐上先生）
14:30～14:45	移動&休憩
14:45～15:25	【分科会】 第2ラウンド ホール：教師海外研修（小学校：鳴戸先生） 研修室1： " （中学校：吉田先生） 研修室2： " （高 校：三宅先生） 研修室3：H20 国際理解教育研修会参加者（高 校：助迫先生）
15:25～15:40	移動&休憩
15:40～16:20	【分科会】 第3ラウンド ホール：教師海外研修（小学校：尾崎先生） 研修室1： " （小学校：金平先生） 研修室2： " H17年度（中学校：岡田先生） 研修室3：JICA 国際協力推進員（島根県：藤原推進員）
16:20～16:25	アンケート記入（各部屋にて）
16:25～16:30	閉会挨拶（各部屋にて）

平成20年度 教育行政及び教員組織との連携実績

県名	連携先	実施時期	主な連携内容
鳥取県	鳥取県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	鳥取県海外子女教育・国際理解教育研究協議会	7月31日	国際理解教育研究会（105名参加）の共催
	倉吉北高等学校	11月28日	国際理解教育講座（28名参加）への講師派遣
島根県	島根県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	地球時代の学び 実践研究会夏季研修会	8月4日	夏季研修会（50名参加）の共催
岡山県	岡山県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	岡山県立総合教育センター	7月25日	小中学校初任者研修（25名参加）への講師派遣
		8月22日	高等学校初任者研修（12名参加）への講師派遣
広島県	広島県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	広島県立教育センター	8月21 - 22日	国際理解教育講座（2日間：37名参加）への協力・講師派遣
		8月29日・12月19日	専門研修講座・英語活動（2日間：80名参加）への協力・講師派遣
	広島市教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	東広島市公立小中学校全校教職員指導力向上セミナー	8月8日	指導力向上セミナー（53名参加）への協力・講師派遣
	安芸郡中学校教育研究会英語部会	5月22日	国際理解教育講座（20名参加）への講師派遣
	広島県高等学校教育研究会国際理解教育部会	8月5日	国際理解教育講座（17名参加）へのワークショップ講師派遣
	広島市立翠町小学校	8月28日	人権教育研修会（30名参加）への講師派遣
山口県	山口県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	山口県国際理解教育研究会	8月22日	研究大会（70名参加）の共催
	山口市教職員組合	11月8日	国際理解教育講座（12名参加）への講師派遣
	岩国市教育委員会錦支所	1月27日	人権教育研修会（74名参加）へのワークショップ講師派遣

平成20年度 研修員の学校訪問実績

実施件数 7件
訪問研修員総数 62名
参加生徒総数 1,188名

訪問日	訪問校	参加生徒数	時間	研修員数	研修員国籍	訪問した研修コース名
5月23日	岡山市立石井小学校	258名 (全校生徒)	10:30 14:00	9	アルメニア、バングラデシュ、インドネシア、シリア、トルコ、ベトナム、インド	ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電コース
5月30日	東広島市立高屋東小学校	65名 (4学年)	10:30 12:15	11	バングラデシュ、ブラジル、ドミニカ共和国、スリランカ、ウルグアイ	廃棄物管理総合技術
7月18日	神石高原町立豊松中学校	38名 (全校生徒)	10:30 15:30	5	エジプト、ヨルダン、シリア、イエメン	中東地域「上水道維持管理」
7月18日	広島市立安西小学校	455名 (全校生徒)	10:30 14:30	7	ベナン、中華人民共和国、イラン、マラウイ、スーダン、タンザニア	乾燥地水資源の開発と環境評価
9月16日	岡山市立西大寺中学校	約200名 (2学年)	12:00 15:30	11	ボリビア、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ニカラグア	中南米地域「生活排水処理」
10月10日	広島県立広高等学校	76名 (1・2学年)	13:30 15:15	8	パキスタン、スリランカ、ネパール、インド、バングラデシュ	南西アジア地域「公害防止行政」
1月23日	三原市立幸崎中学校	96名 (全校生徒)	11:30 16:00	11	ガーナ、ケニア、マダガスカル、マラウイ、モザンビーク、ナイジェリア、南アフリカ共和国、ザンビア	アフリカ地域中「小零細企業支援機関育成」

平成20年度 高校生国際協力体験プログラム

(1) 参加校

実施日：平成20年8月16日(土)～平成20年8月18日(月)

会場：ひろしま国際プラザ

共催：(財)ひろしま国際センター

学校数 15校
参加生徒数 53名

県名	学校名	参加生徒	
		学年	人数
鳥取	鳥取県立鳥取商業高等学校	2	4
	私立米子松蔭高等学校	2	4
岡山	岡山県立総社南高等学校	3	4
	私立岡山学芸館高等学校	1・3	4
広島	私立広島女学院高等学校	1・2	4
	広島県立戸手高等学校	2	4
	福山市立福山高等学校	2・3	4
	私立武田中学校・高等学校	1	4
徳島	徳島県立城ノ内高等学校	2	3
	徳島県立徳島北高等学校	2	3
	徳島市立高等学校	2	2
香川	香川県立高松東高等学校	1	3
愛媛	愛媛県立松山中央高等学校	2	4
	私立今治明德高等学校矢田分校	1	4
高知	私立明德義塾高等学校	3	2

(2) プログラムスケジュール

第1日目：8月16日(土)

時間	内 容
12:30~13:30	受付
13:30~14:00	開会・主催者あいさつ プログラム説明 JICA 中国 所長 生井 年緒 (財)ひろしま国際センター 常務理事 谷村 敏明 JICA 中国 市民参加協力課 澁谷 司会:(社)青年海外協力協会(JOCA) 地守
14:00~15:45	(ワークショップ1) <u>はじまるぞ! 国際協力体験プログラム</u> これから始まる2泊3日のプログラム。まずは自己紹介と仲間作りから。 <u>もしも世界が75人の村だったら...</u> もしも世界が75人の村だったら...地球で暮らす様々な人たちと、わたしたち日本人についてもっとよく知ってみよう! ファシリテーター:(社)青年海外協力協会(JOCA) 宇津宮
16:00~16:50	(おはなし1) <u>知ってる? 青年海外協力隊</u> JICA 事業のひとつである青年海外協力隊について紹介します。明日からのワークショップに備え、まずは協力隊事業について勉強しよう。 JICA 中国 市民参加協力課 瀧口
16:50~18:30	(おはなし2) <u>のぞいてみよう! 青年海外協力隊</u> 青年海外協力隊に参加した人達が、自分の言葉で体験を伝えます。派遣国のこと、活動の思い出、帰国してから思うこと、いろんなことをクイズ/インタビュー方式で伝えます! パラエティあふれる隊員活動。協力隊の魅力を語ります。 司会:(社)青年海外協力協会(JOCA) 宇津宮
18:30~19:00	チェックイン手続き・夕食へ 翌日の活動グループのメンバーと夕食へ行こう!

第2日目：8月17日(日)

時間	内 容
9:00~10:30	(ワークショップ2) <u>挑戦! 青年海外協力隊</u> さあ、あなたも青年海外協力隊となって国際協力に挑戦! 自分にできることは? 1人ではできないことも、力を合わせれば解決の糸口が見つかるかも...みんなで話し合っ活動プランができたならグループ毎に発表だ。他のグループの活動は...? 正解はありません。いろんな見方、協力の仕方。みんなで考えてみましょう。 ファシリテーター:(社)青年海外協力協会(JOCA) 宇津宮 / 友重 / 原
10:30~12:00	<u>挑戦! 青年海外協力隊</u> A グループ A, B, C, D, E, L セミナールーム1/2 B グループ F, G, H, I, J, K, M, N 306
12:00~13:00	昼食
13:00~16:30	<u>挑戦! 青年海外協力隊</u> A グループ A, B, C, D, E, L セミナールーム1/2 B グループ F, G, H, I, J, K, M, N 306
16:30~17:00	休憩・体育館へ移動
17:00~18:00	JICA 研修員との交流 研修員を交えて、AB, DE, FG, HI, CJK でのグループ対抗交流ゲーム。世界の歌、踊りを教えてもらうチャンスです。積極的に研修員から聞き出して発表しよう! ファシリテーター:(社)青年海外協力協会(JOCA) 細川 / 林 / 原
18:00~19:00	休憩・レストランへ移動 この時間までに、18日の『聞いてみよう! 今の自分にできること』の希望記入を完了してください。
19:00~20:30	懇親会 JICA 研修員、JICA 職員、青年海外協力隊との懇親会。参加者の一芸披露も大歓迎! 懇親会は皆さんが創るもの。浴衣や工夫を凝らした衣装での参加も大歓迎! 楽しく盛り上がりましょう!

第3日目：8月18日（月）

時 間	内 容
8:30 ~ 9:00	<p>(ワークショップ3) <u>感じよう！今の自分</u> 2日間のプログラムを共に過ごした仲間と共に振り返って、自分自身を見直してみよう。他者との関わり方、自分自身のコミュニケーション力、世界で生きる人々へのアンテナは、どこに向いているのか、どんな風に向いているのか、それぞれが感じとって欲しい。 ファシリテーター：(社) 青年海外協力協会 (JOCA) 宇津宮</p>
9:00 ~ 10:00	<p>(おはなし3) <u>聞いてみよう！今、自分たちにできること</u> 「挑戦！青年海外協力隊」で考えた活動プラン。それは本当に実践可能？青年海外協力隊になれない今、プランにそって自分たちにできることはあるのか？日本で国際協力に係わる同世代の人のお話や仕事として国際協力に関わる人のお話。いろいろな人の「自分たちにできること」を聞いてみよう！ 事例提供者： ピースビルダーズ（藤 千慧さん） ポンドゥ（福原 涼子さん） グローバルブリッジ（山崎 唯美さん） 岡山学芸館高等学校</p>
10:15 ~ 12:20	<p>(ワークショップ4) <u>決めた！これからの自分</u> 1日目、2日目のプログラムの中で学んだこと、感じたことをふり返りながら、これから自分たちにできることは何かみんなで考えてみましょう。グループで意見をまとめたら発表です。他の参加者は何を感じ、学んだのでしょうか。参加者みんなで、2泊3日で学んだことを共有しよう！ ファシリテーター：(社) 青年海外協力協会 (JOCA) 宇津宮</p>
12:20 ~ 12:35	<p>閉会あいさつ 事務連絡</p>

平成20年度 高校生エッセイコンテスト応募実績と入賞者

(募集期間：2008年6月12日～9月10日)

センター長賞

鳥取県立鳥取緑風高等学校	3年	倉恒 万里子	「世界を変える事は出来るのか」
島根県立浜田水産高等学校	1年	上野 騎子	「食糧・環境問題について」
岡山県立総社南高等学校	2年	池田 絵美	「やるべきこと」
広島女学院高等学校	2年	堀越 未花	「世界が平和になるために」
サビエル高等学校	3年	下瀬 寛子	「未来へ思いを馳せて～ 私だから 出来ること～」

佳作

岡山県立総社南高等学校	1年	竹谷 早織	「スイスに行って」
-------------	----	-------	-----------

(社)青年海外協力協会会長賞

岡山県立総社南高等学校	3年	三鼓 理恵	「今わたしにできること」
福山暁の星女子高等学校	1年	清水 優花	「本当の『平和』とは？」

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数	
鳥取県 (2校)	学校法人米子松蔭高等学校	4	広島県 (11校)	福山暁の星女子高等学校	43	
	鳥取県立鳥取商業高等学校	4		広島県立戸手高等学校	4	
	個人応募	2		広島県立皆実高等学校	4	
鳥取県合計		10		福山市立福山高等学校	4	
島根県 (1校)	島根県立浜田水産高等学校	50		広島女学院高等学校	4	
	島根県合計			50	比治山女子高等学校	1
岡山県 (7校)	岡山県立総社南高等学校	409		個人応募	3	
	岡山学芸館高等学校	49		広島県合計		460
	岡山県立玉島商業高等学校	30		山口県 (7校)	山口県立熊毛南高等学校	45
	岡山高等学校	21			山口県立徳山高等学校	30
	岡山県立倉敷商業高等学校	20			山口県立坂上高等学校	21
	岡山県立岡山特別支援学校	2	学校法人高水高等学校		2	
	岡山県立岡山一宮高等学校	2	山口県立大津高等学校		2	
	個人応募	3	サビエル高等学校		2	
岡山県合計		536	梅光女学院高等学校		1	
広島県	盈進学園盈進高等学校	139	個人応募	1		
	広島県立呉三津田高等学校	76	山口県合計		104	
	広島学院高等学校	70	中国5県合計(28校)		1,160	
	広島県立広高等学校	62	全国応募作品総数		23,517	
	広島県立安芸府中高等学校	50				

平成20年度 中学生エッセイコンテスト応募実績と入賞者

(募集期間：2008年6月12日～9月10日)

センター長賞

伯耆町立溝口中学校	1年	景山 美由紀	「砂漠化と中国」
松江市立本庄中学校	3年	松本 知佳子	「ボランティアをして学んだ事」
学校法人関西学園岡山中学校	1年	藤田 菜津	「世界のため、地球のために」
広島なぎさ中学校	3年	岩田 皆子	「伝える活動をしたい」
山口大学教育学部附属山口中学校	3年	山 明日美	「テレフォンカードに込めた願い」

佳作

学校法人関西学園岡山中学校	1年	藤川 日菜	「言葉」
呉市立白岳中学校	2年	湯中 鈴音和	「頑張れ日本」
広島学院中学校	3年	浦田 康快	「地球の魂」
広島学院中学校	3年	三輪 優太	「便利な生活」
広島市立亀山中学校	3年	鈴木 大志	「ぼくの気持ちの変化を多くの人に」
下関市立日新中学校	2年	大田 歩美	「今を生きる日本人として・・・」

(社)青年海外協力協会会長賞

鳥取市立河原中学校	3年	山田 健吾	「韓国との交流から考える」
岡山市立京山中学校	3年	茅野 真穂	「今、わたしが考えること」

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数
鳥取県 (9校)	倉吉市立西中学校	191	岡山県	倉敷市立福田中学校	14
	赤碕町立赤碕中学校	82		津山市立鶴山中学校	14
	伯耆町立岸本中学校	55		岡山市立高松中学校	13
	鳥取市立河原中学校	47		高梁市立高梁中学校	10
	鳥取県立福部中学校	28		倉敷市立連島南中学校	10
	八頭町立中央中学校	14		玉野市立東児中学校	7
	鳥取市立湖南中学校	9		岡山市立吉備中学校	7
	大山町立大山中学校	7		赤磐市立赤坂中学校	6
	伯耆町立溝口中学校	3		倉敷市立黒崎中学校	4
	個人応募	1		朝日塾中学校	4
鳥取県合計		437		倉敷市立琴浦中学校	4
島根県 (6校)	益田市立高津中学校	225		倉敷市立西中学校	2
	松江市立本庄中学校	47		倉敷市立玉島西中学校	2
	安来市立伯太中学校	47		鏡野町立鏡野中学校	2
	江津市立桜江中学校	3		笠岡市立大島中学校	1
	出雲市立旭丘中学校	1		備前市立三石中学校	1
	津和野町立津和野中学校	1		井原市立芳井中学校	1
島根県合計		324		倉敷市立東陽中学校	1
岡山県 (25校)	岡山市立興除中学校	182		岡山県合計	
	津山市立津山西中学校	138	広島県 (53校)	広島学院中学校	288
	学校法人関西学園 岡山中学校	63		広島女学院中学校	221
	玉野市立荘内中学校	59		海田町立海田中学校	187
	岡山大学教育学部附属中学校	44		広島市立宇品中学校	178
	岡山市立京山中学校	26		学校法人盈進学園 盈進中学校	132
	金光学園中学校	23		広島市立亀山中学校	121

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数
広島県	呉市立両城中学校	105	広島県	福山市立山野中学校	1
	府中町立府中緑ヶ丘中学校	92		個人応募	1
	広島市立庚午中学校	88	広島県合計		2,291
	山陽女学園中等部	76	山口県 (27校)	周南市立富田中学校	99
	熊野町立熊野中学校	68		下関市立勝山中学校	83
	広島市立翠町中学校	66		宇部フロンティア大学付属中学校	66
	呉市立白岳中学校	64		徳山市立桜田中学校	66
	三原市立大和中学校	57		山口大学教育学部附属山口中学校	63
	廿日市市立四季が丘中学校	47		山口市立秋穂中学校	37
	広島市立砂谷中学校	45		山口市立阿知須中学校	29
	福山暁の星女子中学校	41		宇部市立西岐波中学校	29
	広島市立祇園中学校	38		秋芳市立秋芳南中学校	29
	福山市立城南中学校	33		光市立室積中学校	18
	江田島市立大柿中学校	33		阿東町立阿東東中学校	16
	東広島市立磯松中学校	31		岩国市立錦中学校	15
	竹原市立忠海中学校	28		周防大島町立東和中学校	15
	廿日市市立七尾中学校	28		長門市立三隅中学校	13
	広島市立五日市中学校	20		岩国市立岩国西中学校	8
	広島市立長束中学校	19		宇部市立黒石中学校	7
	広島なぎさ中学校	15		山口市立川西中学校	7
	大竹市立大竹中学校	14		岩国市立本郷中学校	6
	東広島市立八本松中学校	12		下関市立彦島中学校	6
	廿日市市立吉和中学校	12		下関市立長成中学校	4
	広島市立似島中学校	12		山口市立湯田中学校	4
	江田島市立切串中学校	11		県立高森みどり中学校	3
	福山市立松永中学校	11		周南市立鼓南中学校	2
	三次市立塩町中学校	10		下関市立日新中学校	2
	広島市立祇園東中学校	10		防府市立野島中学校	1
	世羅町立甲山中学校	9		岩国市立周東中学校	1
	学校法人呉武田学園 武田中学校	8		梅光女学院中学校	1
	竹原市立竹原中学校	8	個人応募	3	
	呉市立吉浦中学校	8	山口県合計		633
	廿日市立阿品台中学校	8	中国5県合計(120校)		4,323
	呉市立広中央中学校	7	全国応募作品総数		51,493
	安芸高田市立高宮中学校	5			
	広島市立美鈴が丘中学校	5			
	広島市立阿戸中学校	4			
	広島市立三和中学校	3			
	府中市立第二中学校	2			
	呉市立呉中央中学校	2			
	呉市立天応中学校	2			
	江田島市立能美中学校	1			
学校法人尾道学園 尾道中学校	1				
広島私立瀬野川東中学校	1				
尾道市立長江中学校	1				
東広島市立松賀中学校	1				

平成20年度 海外視察等に関する支援・便宜供与実績

合計：18件
参加者数：141名

行事名<団体名>	訪問国	海外渡航期間	人数	支援・便宜供与内容
パラオ共和国視察 < 岡山大学 学務部国際課 >	パラオ	4月3日～ 4月6日	6	JICA 事務所訪問
モンゴル・スタディーツアー < マンダフ～ナランの会 >	モンゴル	8月1日～ 8月8日	13	JICA 事務所訪問 JICA 関係者との意見交換
青少年国際交流・協力スタディーツアー < (財) 広島平和文化センター >	バングラデシュ	8月2日～ 8月10日	22	協力隊活動現場視察 協力隊員との交流
インドネシア国際貢献プロジェクト < 広島経済大学 興動館 >	インドネシア	8月17日～ 8月31日	7	JICA プロジェクト施設訪問
国際協力現地研修 < 広島大学大学院 国際協力研究科 >	フィリピン	8月18日～ 8月24日	6	JICA 事務所訪問
パラオ学習ツアー < 岡山大学 学務部国際課 >	パラオ	9月5日～ 9月15日	8	JICA 事務所訪問
青年海外協力隊活動現場視察 < 個人 >	中華人民共和国	9月20日	4	青年海外協力隊活動現場視察
ブルキナファソ現状調査 < 特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima >	ブルキナファソ	10月4日～ 10月13日	1	JICA 事務所訪問
教育国際支援プロジェクト事前調査 < 山口大学教育学部 教育国際支援プロジェクト >	カンボジア	10月5日～ 10月16日	3	JICA 事務所訪問 協力隊活動現場視察 技術協力プロジェクト視察
アフリカ・アジア大学間の対話プロジェクト事前調査 < 広島大学教育開発国際協力センター >	ベトナム	12月7日～ 12月12日	2	JICA 事務所訪問
ドッキングチャムリヤ村における NGO 活動調査 < 山口大学エクステンションセンター >	バングラデシュ	12月22日～ 12月29日	1	JICA 事務所訪問
世界に翔けボランティア事業：高校生海外短期研修 < 岡山県企画振興部国際課 >	カンボジア	12月25日～ 12月31日	7	JICA 事務所訪問 協力隊活動現場視察
岡山市・サンホセ市姉妹都市締結40周年記念親善訪問 < 岡山市 >	コスタリカ	1月31日～ 2月8日	24	協力隊員の活動紹介と交流
国際協力研究拠点開所式 < 広島大学 >	ケニア	2月4日～ 2月7日	3	JICA 事務所訪問
マレーシア修学旅行 < 盈進学園盈進中学高等学校 >	マレーシア	3月2日～ 3月9日	16	協力隊活動現場視察
タンザニア・スタディーツアー < 鳥取大学医学部国際保健友の会ハクナマタタ >	タンザニア	3月2日～ 3月18日	10	JICA 事務所訪問 JICA プロジェクト事務所訪問
ボラボ・アイデアル小学校支援活動 < 広島新庄高等学校・広島新庄中学校 >	バングラデシュ	3月21日～ 3月28日	6	JICA 事務所訪問 協力隊員との交流
インターンシッププログラム事前調査 < 広島大学大学院 国際協力研究科 >	マレーシア	3月24日～ 3月28日	2	JICA 事務所訪問

海外記者派遣実績

年度	派遣国	派遣期間	派遣記者	取材結果
平成14年度	エチオピア ジンバブエ ザンビア	平成14年9月15日～ 平成14年9月28日	中国新聞社 吉原 圭介 記者	「夢づくり 青年海外協力隊 in アフリカ」(全6回) 中国新聞掲載
平成15年度	メキシコ パラグアイ	平成15年8月31日～ 平成15年9月5日	読売新聞社鳥取支局 井口 馨 記者	「地球の裏側から」(全5回) 読売新聞鳥取版掲載
平成16年度	ベトナム フィリピン	平成16年11月3日～ 平成16年11月11日	山口新聞社 伊藤 大輔 記者	「大海原を越えて 青年海外協力隊比越報告」(全5回) 山口新聞掲載
平成17年度	ケニア ウガンダ	平成18年1月30日～ 平成18年2月11日	山陰中央新報社 井上 誉文 記者	「1000キロの架け橋」(全6回) 山陰中央新報掲載平成18年3月11日 ピーストークマラソン in 島根で帰国報告
	マラウイ ザンビア	平成18年3月6日～ 平成18年3月17日	山陽新聞社 藤岡 慎吾 記者	「大地に汗を～アフリカ支援の今～」(全5回) 山陽新聞掲載「手と手と手～岡山発 国際貢献～」山陽新聞(平成18年1月1日から平成18年6月23日まで97回連載)に参考情報として活用
平成18年度	カンボジア フィリピン	平成18年5月25日～ 平成18年6月3日	新日本海新聞社 坂 彩子 記者	「きずなは固く～青年海外協力隊の2女性～」(全4回) 日本海新聞掲載「信本先生のカンボジアメール」日本海新聞連載中(平成19年4月現在)ピース・トーク・マラソン in 鳥取で取材報告
	タイ ベトナム	平成18年10月16日～ 平成18年10月24日	山口新聞社 森重 瑛美 記者	「山口から東南アジアへ～国際支援活動を追う～」(全5回) 山口新聞掲載ピース・トーク・マラソン in 山口で取材報告
平成19年度	ガーナ	平成19年7月30日～ 平成19年8月12日	毎日新聞社山口支局 住田 里花 記者	「教師海外研修40年～先生たちのガーナ見聞録～」(全3回) 毎日新聞掲載
	ブルキナ ファソ タンザニア	平成19年11月26日～ 平成19年12月7日	山陰中央新報社 佐野 卓矢 記者	「灼熱の地を開く～アフリカ支援の山陰人～」(全5回) 山陰中央新報掲載
平成20年度	ザンビア ブルキナ ファソ	平成20年5月11日～ 平成20年5月24日	中国新聞社 治徳 貴子 記者	「アフリカで支える 中国地方の協力隊員」(全5回) 中国新聞社掲載
	セントビン セント コスタリカ	平成20年12月9日～ 平成12月18日	新日本海新聞社 半田 聡 記者	「夢追い人を訪ねて 青年海外協力隊員に密着」(全5回) 新日本海新聞社掲載

平成20年度 職業体験受入実績

学校名	受入日	受入生徒数
広島県立広島中学校	10月27日	2名

平成20年度 広島大学との連携協力実績

番号	事案名	期間・日時	事業計画概要
1	集団研修 「中等科学教育実技Ⅱ」	研修受入期間 平成20年8月5日～ 9月28日	研修参加者(7名):科学教育手法を有する教員を養成。全5年次の4年次目。 到達目標:物理、化学などの実験技術の習得 低コスト理科実験機材の 開発方法の習得 日本の科学教育の学習指導の理解
2	集団研修 「持続可能な地域観光振興」	研修受入期間 平成20年8月19日 ～10月26日	研修参加者(11名):地域共同体の意向及び環境に与える影響にできるだけ 配慮するような方法で観光開発を行えるように、研修員が持続可能な観光開 発に関する包括的な知識と基礎的な技能を修得する。
3	ベトナム長期研修員 「水環境技術能力向上」	研修受入期間 平成17年9月3日～ 平成21年9月28日	研修参加者(1名):ベトナムで JICA が実施している「水環境技術能力向上 プロジェクト」に関わっているカウンターパート(C/P)を受け入れている もので、水環境問題を環境管理の視点から研究し、その成果をプロジェクト 活動(環境エンジニアリング部門の水環境技術能力向上)に応用し、ベトナム における適用可能な技術に反映させる。
4	イラク長期研修員 「灌漑水資源管理」	研修受入期間 平成19年9月25日～ 平成22年4月3日	研修参加者(1名):日本における植物の耐乾燥性や植物栄養生理学に係る 最新技術や研究成果を理解するとともに、本研修で得た知識に基づき、イラ クに即した肥料や生物生産性につながる分析、研究成果をまとめる。
5	国別研修 「南アフリカ理科数科教員 養成者研修」	研修受入期間 平成20年10月28日～ 12月7日	研修参加者(10名):南アの現職中等理科数科教員の指導法を改善。全3年次 の3年次目。到達目標:日本と自国の教育の経験と現状を比較 理科数 科分野の教授法の質的改善 自国の現職教員研修計画の策定
6	地域別研修 「アフリカ地域 仏語圏 INSET 運営管理」	研修受入期間 平成20年11月4日 ～12月12日	研修参加者(12名):19年度まで実施していた「仏語圏アフリカ教育行政」 の更新案件。20-22年度の3 ヶ年実施。地方教育行政官などに自国の現職 教員研修の課題に対する改善計画案を作成させるのが主眼。
7	地域別研修 「アジア地域・ノン フォーマル教育拡充」	研修受入期間 平成21年2月15日～ 3月15日	研修参加者(11名):UNESCO タイ事務所及び広島大学と連携し、タイと 日本の事例を学び、ノンフォーマル教育拡充のための戦略計画案を立案する。 全3年次の2年次。主な到達目標:タイでのノンフォーマル教育における 制度、行政の役割を学ぶ 日本における生涯学習拠点の事例を通して、コ ミュニティー開発などの視点からノンフォーマル教育のあり方について理解 を深める。
8	課題別研修長期型 「アフリカ初中等教育の 質的改善」	研修受入期間 平成21年3月16日～ 平成23年3月31日	研修参加者(7名):教員養成機関講師及び教育行政官を対象にして、アフ リカの開発と教育に係る理論と実践を習得させ、自国の初中等教育の質的向 上に対する問題解決及び政策立案能力の向上を図ることを目的としている。
9	青年海外協力隊募集説明 会等にかかる会場の利用	通年	青年海外協力隊の春、秋の募集説明会などで、連携の一環としてこれらの施 設利用を位置づけて、申し込み、利用ができるようになった。
10	「もみじ」(大学生向け携 帯電話掲示板)を利用し た、セミナーや募集説明 会等 JICA 事業の案内	通年	学生向けの学内掲示板機能としての携帯電話での掲示サイト「もみじ」で、 JICA が行っているセミナーや協力隊募集説明会などの行事について、同掲 示板で案内していただいた。
11	JICA- 広島大学連携協議	4月、12月	4月:広島大学 - JICA の連携事業年度計画の共有 12月:新生 JICA の事業の特徴、JICA 中国の役割の説明を行い、広島大学 の理解を得た。
12	国際協力研究科「国際協 力特論」での講義	平成20年12月10日、 17日	国際協力研究科の大学院50名(インドネシア、中国、バングラデシュ、ブ ルネイ、カンボジア、マレーシア、ベトナム、タイ、フィリピン、パプア・ ニュー・ギニア、日本)に対し、JICA の組織・事業概要及び国内業務の特 徴を講義した。
13	JICA 中国一般特別料金 適用による広島大学客員 研究員等の宿泊促進	通年	JICA 中国宿泊に係る一般特別料金(朝食込み、税込み¥4,541/泊)の適 用対象として、「JICA が大学と締結する連携協力協定(覚書を含む)に規定 する施設の相互利用に基づき宿泊する者」と定まったところ、広島大学客員 研究員、学会参加者等の宿泊施設利用の促進を図った。その結果、広島大学 関係者は、431人泊(平成20年度センター宿泊者の7.5%に相当)の宿 泊実績となった。
14	広島大学 - JICA 中国のア クセスの改善	通年	広島大学 - JICA 中国のアクセスについては、朝夕の JICA バスの定期運行 を開始する等の改善を計った。

海外ボランティアによる「原爆展」開催実績

「原爆展」は、広島県出身の青年海外協力隊員達の自主的な活動により、2004年中米のニカラグアにて開催され好評を得たのを機に、これまでアフリカや中南米など40カ国を超える国々で開催されています。広島市国際協力推進員が窓口となり、広島市平和祈念資料館からの原爆資料貸出など行っています。

1. 平成20年度原爆展等の実施実績

国名	実施時期	実施内容
バングラデシュ	平成20年2月～3月	学校を中心に計6ヶ所で実施。
パラグアイ	平成20年4月～10月	市役所、図書館、学校、日本人会公民会など計8箇所で開催を実施、3,570名来場。
ガーナ	平成20年5月～6月	大都市の大学2校にて実施。
ルワンダ	平成20年8月	協力隊員の配属先中学校にて実施、約400名の生徒が参加。
タンザニア	平成20年8月	ギャラリーにて実施、2日間で約270名来場。
タンザニア	平成20年11月	図書館にて2日間開催。
ベナン	平成20年	
ドミニカ	平成21年3月	オールドミル・カルチャーセンターで開催。6日間で約700人来場。

2. 「原爆展」開催国数

年度	開催国数
平成16年度	1
平成17年度	9
平成18年度	16
平成19年度	26
平成20年度	7

主な関係団体（中国5県）

（1）国際協力関連業務主管部課

県・市名	国際協力一般 (含む青年海外協力隊)	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	文化観光局交流推進課	680-8570	鳥取市東町1-220	0857-26-7079
島根県	環境生活部文化国際課	690-8501	松江市殿町1	0852-22-6462
岡山県	企画振興部国際課	700-8570	岡山市内山下2-4-6	086-226-7284
広島県	総務局秘書広報部国際課	730-8511	広島市中区基町10-52	082-513-2359
山口県	地域振興部国際課	753-8501	山口市滝町1-1	083-933-2343
広島市	市民局国際平和推進部	730-8586	広島市中区国泰寺町1-6-34	082-504-2106

（2）主な協力団体

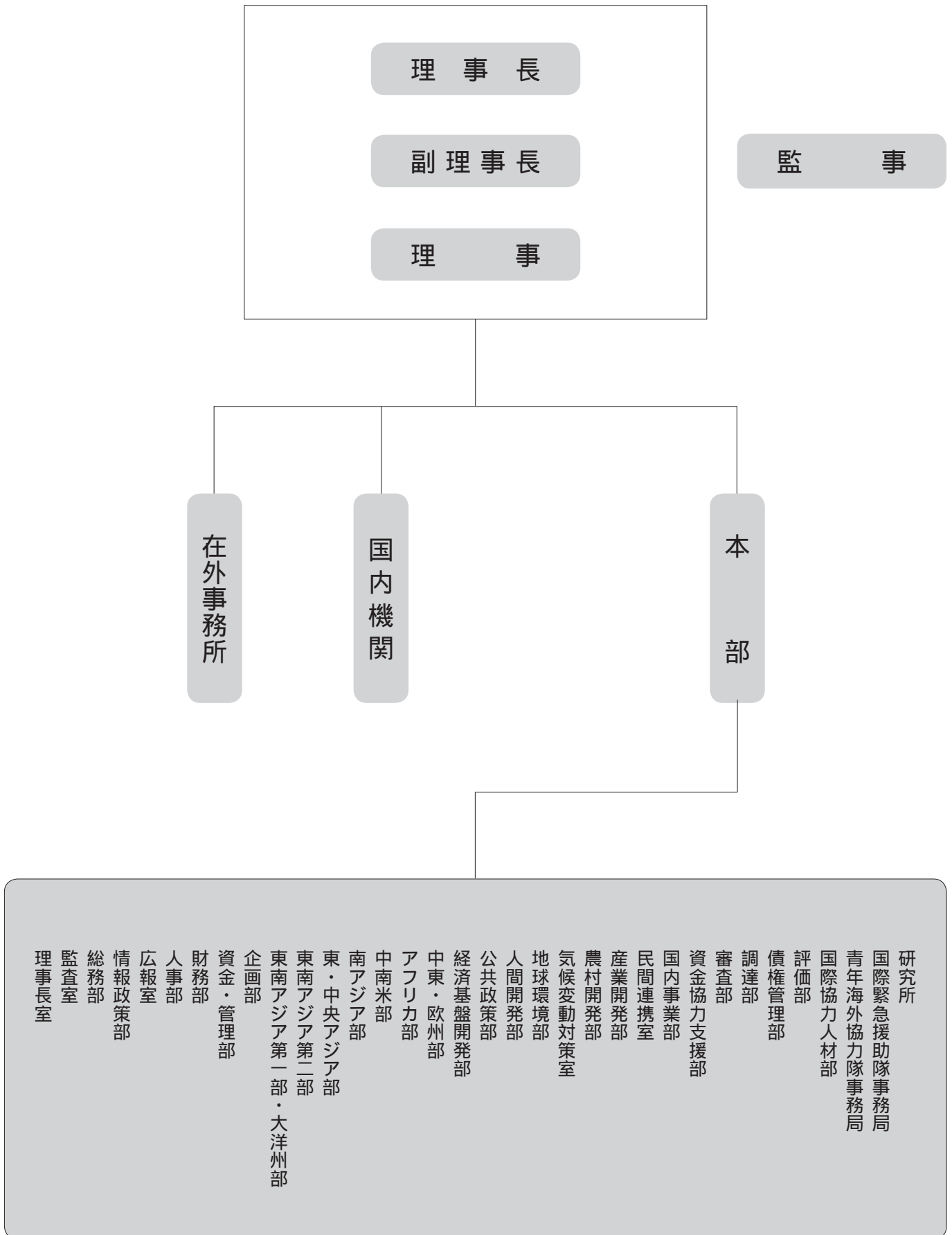
県・市名	団体名	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	財団法人 鳥取県国際交流財団	680-0947	鳥取市湖山町西4-110-5 鳥取空港国際会館1階	0857-31-5951
島根県	財団法人 しまね国際センター	690-0887	松江市殿町8-3 島根県市町村振興センター 3階	0852-31-5056
岡山県	財団法人 岡山県国際交流協会	700-0026	岡山市奉還町2-2-1 岡山国際交流センター内	086-256-2917
広島県	財団法人ひろしま国際センター	730-0037	広島市中区中町8-18 広島外事ビル 6階	082-541-3777
山口県	財団法人 山口県国際交流協会	753-0814	山口市吉敷下東4-17-1	083-925-7353
広島市	財団法人広島平和文化センター	730-0811	広島市中区中島町1-2 広島国際会議場内	082-242-8879

（3）青年海外協力隊OB会・育てる会

団体名	代表者名・役職	
青年海外協力隊鳥取県OB会	谷 田 孝 之	会 長
島根県青年海外協力協会	生 越 大 地	会 長
青年海外協力隊岡山県OB会	藤 本 裕 也	会 長
青年海外協力隊広島県OB会	大 木 健 一	会 長
青年海外協力隊山口県OB会	亀 田 崇 路	会 長
広島県協力隊を育てる会	上 田 みどり	会 長
山口県協力隊を育てる会	岩 本 功	会 長

国際協力機構の組織図

(平成21年3月31日現在)



JICA 中国の沿革

1. 事業の沿革

昭和29年から管轄地域内各県で実施されていた海外移住業務を、昭和39年7月に設置された国際協力事業団（JICA：Japan International Cooperation Agency）の前身である海外移住事業団広島県事務所が、各県海外協会から継承しました。昭和40年から各県の協力を得て実施されていた青年海外協力隊業務は、国際協力事業団広島支部が設置された昭和49年8月から扱うこととなり、研修員の受入れ業務は、昭和56年から実施しています。

2. 組織の変遷

< 国際協力事業団設立以前 >

昭和29年1月 財団法人日本海外協会連合会が東京に設立。

3月 広島県及び鳥取県に海外協会が設立。その後、4月に岡山県、10月に山口県、11月に島根県と設立。

昭和37年6月 海外技術協力事業団（OTCA）設立。政府の技術協力事業を一元化。

昭和38年7月 海外移住事業団（JEMIS）設立。財団法人日本海外協力連合会の業務を継承。

昭和39年7月 JEMIS、都道府県に地方事務所開設。

昭和48年10月 JEMIS 広島支部が設立。広島県、山口県及び島根県を管轄。岡山県及び鳥取県は、神戸支部が管轄。山口県には更に駐在員事務所を配置。

< 国際協力事業団 >

昭和49年8月 国際協力事業団（JICA）設立。JEMIS 広島支部は、JICA 広島支部となる。

昭和53年9月 山口駐在員事務所が廃止。

昭和54年7月 JICA 広島支部の担当地域に鳥取県及び岡山県が加わり、管轄が中国5県となる。

昭和55年4月 名称変更により広島支部は中国支部となる。

平成8年10月 中国支部を廃止し、中国国際センターを設立。

平成9年1月 東広島市鏡山の広島中央サイエンスパーク内に、JICA と広島県との共同施設「ひろしま国際プラザ」が完成。

2月 中国国際センターを、「ひろしま国際プラザ」に移転。

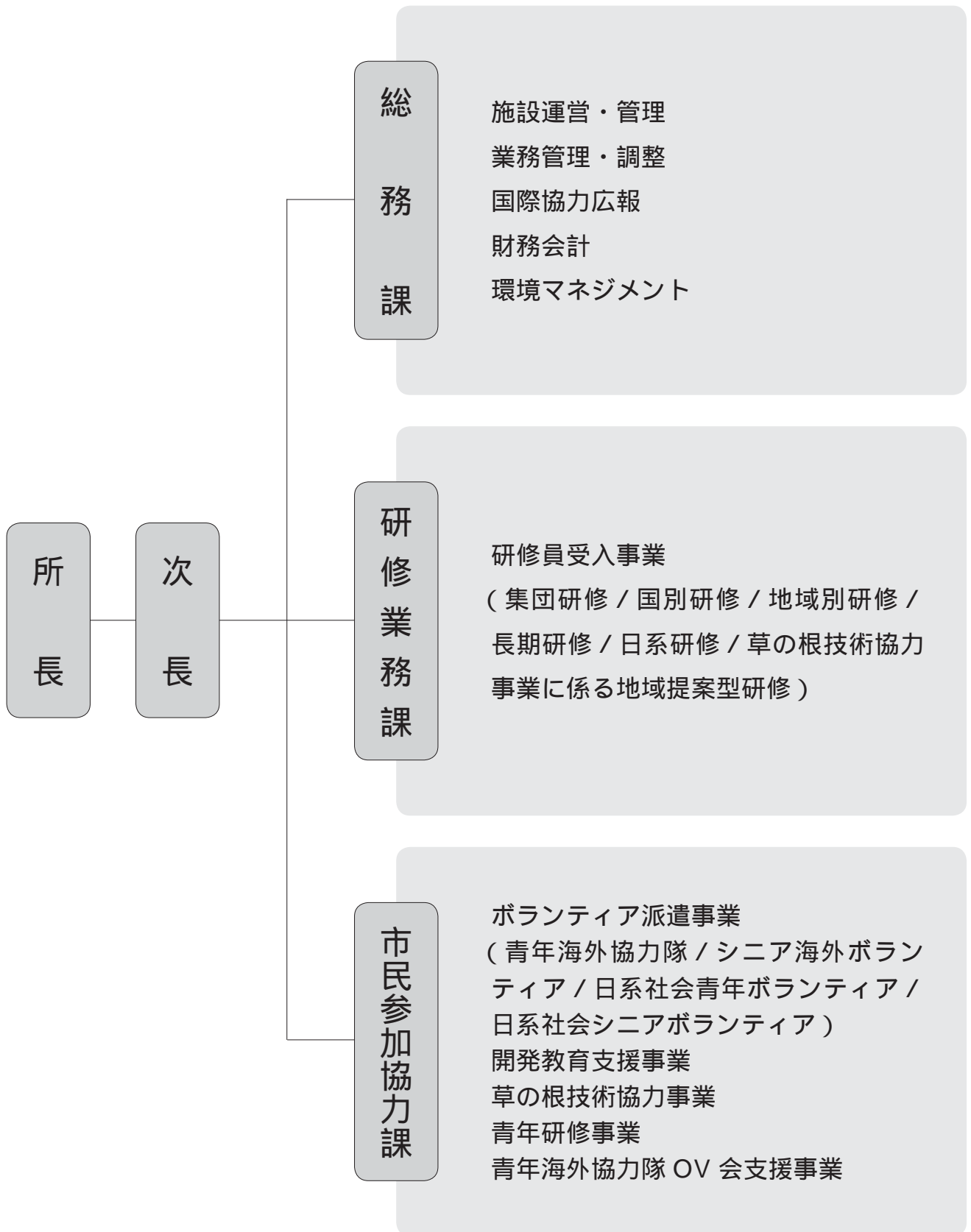
< 国際協力機構 >

平成15年10月 JICA は、独立行政法人化して「独立行政法人 国際協力機構」（英文名称は「JICA」のまま）となる。

平成20年10月 国際協力銀行（JBIC）のODA部門と統合、外務省の無償資金協力業務を承継し、一元的なODA実施機関となる。

JICA 中国の組織図・業務内容

(平成21年3月31日現在)



JICA 中国の職員等

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

所 長		生 井 年 緒 ~ 9月 齋 藤 直 樹 10月～
次 長		竹 内 康 人
総 務 課	総務課長	籌 満 彦 山 崎 み さ ~ 8月
研修業務課	研修業務課長	宿野部 雅 美 ~ 7月 中 本 明 男 7月～ 三 浦 佳 子 橋 本 洋 平 ~ 4月 徳 田 真 人 矢 崎 仁太郎
市民参加協力課	市民参加協力課長 市民参加協力調整員 進路相談カウンセラー 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員	辻 野 博 司 澁 谷 和 朗 ~ 8月 井 上 明 美 9月～ 瀧 口 暁 生 幸 田 正 夫 越 智 正 紀 鳥取県 渡 辺 由 美 島根県 藤 原 佑 子 岡山県 武 藤 理 恵 広島県 五十嵐 静 保 山口県 水 野 雅 子 広島市 井 尚 子

MEMO

独立行政法人 国際協力機構中国国際センター
平成20年度活動レポート

2009年10月 発行

発行 独立行政法人 国際協力機構
中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目3番1号
TEL 082-421-6300
FAX 082-420-8082
E-Mail jicacic@jica.go.jp
URL <http://www.jica.go.jp/chugoku>

独立行政法人 国際協力機構 中国国際センターへの交通アクセス



- JR 西条駅から
 ・JR バス 黒瀬・広・呉方面（7番のりば）
 水源地前（すいげんちまえ）下車 徒歩15分
 ・JR バス サイエンスパーク行（7番のりば）
 フォード前下車 徒歩5分
 ・タクシー 15分
 ・シャトルバス 西条駅前（6番のりば）15分
 JR 東広島駅から
 ・タクシー 10分
 広島空港から
 ・バス（呉市交通局）呉駅行 水源地前（すいげんちまえ）下車 徒歩15分
 ・芸陽バス 白市駅方面 終点 JR 白市駅下車< JR に乗換 >
 山陽本線広島方面行 JR 西条駅下車（JR 西条駅からは、上記を参照）
 ・タクシー 30分
 山陽自動車道 西条 IC から
 ・自動車 国道375号線を呉方面へ 15分
 国道2号線（西条バイパス）
 ・自動車 道交差点を呉方面へ 5分



シャトルバス運行表

JR 西条駅 ひろしま国際プラザ

西条駅	リハビリテーションセンター	広島大学	ひろしま国際プラザ	備考
8:58			9:13	土日祝運休
10:00			10:16	
10:50			11:06	
13:35			13:51	
15:50	16:08		16:20	
18:05		18:20	18:25	土日祝運休
18:00			18:15	土日祝のみ運休
18:55			19:10	土日祝運行
19:30			19:45	土日祝のみ運休

ひろしま国際プラザ JR 西条駅

ひろしま国際プラザ	広島大学	リハビリテーションセンター	西条駅	備考
8:30	8:35		8:50	土日祝運休
9:44			9:58	
10:16		10:25	10:46	
13:09			13:25	
16:20			16:35	
17:40			17:55	土日祝のみ運行
17:50			18:05	土日祝運休
18:40			18:55	土日祝運休
19:10			19:25	土日祝のみ運行

印のバスはリハビリテーションセンターが運営しているバスです。
 乗車・座席の利用については、リハビリテーション利用者が優先となります。

独立行政法人 国際協力機構 中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1 ひろしま国際プラザ内
 TEL(082)421-6300 FAX(082)420-8082
<http://www.jica.go.jp/chugoku/>



この印刷物は「エコマーク」と「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています